

第七十回帝國議會
衆議院

樺太市制案委員會會議錄(速記)第十一回

會議

昭和十二年三月二十四日(水曜日)午後一時
四十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事 川崎末五郎君

服部 教一君 牧山 耕藏君

片山秀太郎君 上塚 司君

同日委員齋藤直橋君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ服部教一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

外務省亞米利加局長 岡本 季正君

拓務次官 入江 海平君

拓務省管理局局長 植場 鐵三君

拓務省殖産局長 萩原 彦三君

拓務省拓務局長 安井誠一郎君

拓務書記官 副島 勝君

拓務書記官 武田 寛一君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 漢那 憲和君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル

特例ニ關スル件)(政府提出)

海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金

ノ出資等ニ關スル法律案(政府提出)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス

○上塚委員 昨日同僚牧山代議士ヨリ外務

當局ニ對シテ、私ノ關係致シテ居リマスル

「アマゾン」産業株式會社ト、「アマゾナス」

州議會トノ間ニ締結致シマシタル百萬町步讓

與ニ關スル「コンセンション」契約ニ關シマ

シテ御質問ガアリマシテ、私ニ對シテモ説

明ヲ要求セラレタルデアリマシタ、仍テ茲

ニ簡單ニ「コンセンション」契約ノ沿革、竝ニ

ソレガ確然タル既得權デアル所以ヲ御説明

致シテ置キタイト思ヒマス

抑、本「コンセンション」ガ我方ニ獲得セ

ラレマシタルハ、千九百二十六年五月、時

ノ駐伯大使田付七太氏ガ「アマゾン」州ノ招

聘ニ依リマシテ、遠ク「アマゾン」ヲ訪問セ

ラレタルニ其端ヲ發シマス、大體ガ「アマゾ

ン」ニ到著當時及ビ滯在中ノ狀況ハ、活動寫

眞其他記錄ニ依ッテ、今日殘ッテ居リマスル

ガ「アマゾン」州政府ハ大使ヲ遇スルニ、殆

ド王侯ノ禮ヲ以テシタルデアリマス、當時

ノ州統領「エフゼニオ・デ・サール」氏ハ、

頻ニ「アマゾン」發展ニ意ヲ注ギマシテ、豫

テヨリ「サンパウロ」ニ於ケル日本移民ノ狀

況ハ、統制アリ而モ勤勉ニシテ、能ク「サン

パウロ」州産業ノ發展ニ貢獻シツ、アルノ

ヲ見マシテ、「アマゾン」ノ如キ千古ノ原始

林ヲ開拓スルニハ、日本人ノ如キ賢明ニシ

テ勤勉ナル移民ニ依ルノ外ナシト考ヘ、田

付大使ヲ主賓トセル公式晚餐會ノ席上、歡

迎ノ演説ニ於テ、若シ日本ニシテ「アマゾ

ナ」州ニ移民ヲ送ル事ガ出來ルナラバ、州

政府ハ土地竝ニ有ル便宜ヲ供與スベキ用

意ノアルコトヲ提言シタルデアリマス、而

シテ此演説ハ翌日ノ官報ニ其全文ガ發表セ

ラレテ居ルデアリマス、其後大使ト州統

領トノ間ニ話合ヒガ出來マシテ、越エテ同

年十二月二十二日、州政府ハ「アマゾン」州

議會ニ對シ法律第千三百九號、即チ「開拓植

民ノ爲ニ必要アル場合ハ州統領又ハ州政府

ハ州有地一百萬町步迄ヲ内國人又ハ外國人

ニ讓與スル事ヲ得」ト云フ法律案ヲ提案シ、

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

大正九年法律第五十三號中改正法律案(關
稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ
關スル件)(政府提出)
海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ
出資等ニ關スル法律案(政府提出)

本案ハ滿場一致ヲ以テ州議會ヲ通過シタル

デアリマス、而シテ目下問題トナッテ居リマ

スル百萬町步讓與契約ハ、斯ノ如ク法律第

千三百九號ニ依ッテ與ヘラレタル權限ニ基

キ、千九百二十七年三月十一日附ヲ以テ、

「アマゾン」州政府ト我方トノ間ニ締結セラ

レ、翌十二日ノ官報ニ依ッテ 公布セラレタ

ルモノデアリマシテ、此契約ハ締結ト同時

ニ、其法律的效果ヲ生ジテ居ルデアリマ

ス、當ニ之ニ止マラズ、本契約ハ更ニ一九

二九年七月十四日ノ州議會ニ於テ讀ミ上ゲ

ラレタル州統領敎書ニ明記セラレ、州議會

ハ重ネテ滿場一致ヲ以テ承認ラシテ居ルノ

デアリマスカラ、適法且ツ完全ニ成立セル

法律行爲ト申サネバナリマセヌ、然ルニ千

九百三十年十月二十四日、偶、革命勃發シ、

「ブラジル」國ノ政權ハ中央、地方共ニ革命

政府ノ掌握スル所トナリ、千九百三十年十

一月二十一日、「アルヴァロ・ロマイア」氏聯邦

執政官ニ任命セラレ、「アマゾナス」州ノ行

政ノ首腦者トナリマシタ、氏ハ就任後幾何

モナク、舊州政府ニ依ッテ締結又ハ許容セラ

レタル二十有餘ノ各種ノ「コンセンション」

ヲ悉ク廢業シタノデアリマスガ、我が百萬町歩ノ土地讓與ノミハ、國家ノ爲メ有意義ナリトシテ存置シタルノミナラズ、同氏ガ聯邦執政官ニ就任シテ州統領官邸ニ出勤シタル當日、私ノ要求ニ依リ本契約ノ效力及ビ百萬町步地域劃定ノ件ヲ確認シタノデアリマス、其後聯邦執政官ハ二回更迭シマシタガ、此二人ノ聯邦執政官モ何レモ本契約ヲ確認シテ居ルノデアリマス、而シテ、千九百三十四年七月、革命政府ハ新憲法ヲ制定シタノデアリマスガ、新憲法附則第十八條ニ依レバ、千九百三十年十月革命後千九百三十四年七月新憲法制定マデノ期間ニ於テ臨時政府、各州聯邦執政官ノ爲セル行爲、命令ハ總テ之ヲ承認シ、其效力ニ付テハ一切ノ司法的論議ヲ要セザル旨ヲ規定セルガ故ニ、本「コンセンション」契約ハ、舊憲法ニ依ッテモ、又新憲法ニ依ッテモ明ラカニ認めラレタル既得權デアリマシテ、何物ノ侵犯ヲモ許サヌ 確固タル我方ノ權利デアリマス、斯クテ我方ニ於テハ千九百三十六年二月四日、原契約ニ定ムル拓殖會社ノ設立ヲ終ヘタルヲ以テ、原契約第二條及ビ第三條ニ基キ、州政府トノ間ニ確定契約ヲ締結スル事ヲ提起シ、州政府ハ該確定契約ノ案ヲ州議會ニ提案シ、滿場一致ヲ以テ通過致シ

タノデアリマス、然ルニ新憲法第三百三十條ニ於キマシテ「面積」一萬町步以上ノ土地ノ讓與ハ各件毎ニ聯邦上院ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲ス事ヲ得ズ」ト規定シテアリマスル爲メ、「アマゾナス」州統領ハ、迂潤ニモ該契約案ノ承認方ヲ聯邦上院ニ申請シタノデアリマス、是ガ動機トナツテ果然該契約ノ有スル廣大ナル土地及ビ特權ガ、聯邦上院ノ問題トナリ、總テ全「ブラジル」ノ政治問題化シ、聯邦上院ニ於テハ本問題ニ關スル委員會ヲ開キマスコト前後二十數回、昨年八月二十四日聯邦上院ノ本會議ニ於テ十五對十一ノ差ヲ以テ否決セラレル所ノ運命ニ立至ツタノデアリマス、元來本契約ハ明確ナル既得權デアッテ、今更上院ノ關知スベキ問題デナイコトハ、「リオ」法科大學教授ニシテ外務省顧問タル「クロウダス・ベラック」氏、元外務大臣ニシテ、國際法學者タル「アフラニオ・デ・メロ・フランコ」氏、著名ナル法學者ニシテ社會學者タル「エウアリスト・デ・モラエス」氏、並ニ「リオ」市法科大學教授「コンブリート・サンタアンナ」氏等ガ共ニ證明シテ居ル所デアリ、又上院ノ有力ナル人々ノ間ニモ左様ニ認めラレテ居ル所デアリマス、「アマゾナス」州統領ハ上院ノ承認ヲ求ムル必要ナキ本契約ヲ上院

ニ送付シ、其承認ヲ乞ヒマシタガ爲メ、上院ニ於テハ種々ノ策謀ガ行ハレマシテ、遂ニ政治的ニ之ヲ否決スルニ至ツタモノデアリマス、併ナガラ上院ガ如何ニ政治的ニ否決スルモ、法律的ニハ飽迄既得權タルコトヲ失ハナイノデアリマス、本契約ハ以上述べブルガ如ク、元々我方ヨリ要求シタモノデナク、「ブラジル」側ヨリ我方ニ對シテ勸誘シ、提供シテ來タモノデアッテ、百萬町步讓與並ニ諸種ノ特權賦與ニ關スル原契約ハ、千九百二十七年三月十一日ニ適法且ツ有效ニ州政府ト我方トノ間ニ締結セラレ、而シテ其契約ハ今日マデ有效ニ存續シテ居ルノデアリマス、而シテ我方ニ於テハ此適法且ツ有效ニ締結セラレタル契約ガ、必ズ實行セラルベキコトヲ確信シテ、今日マデ十箇年間、調査隊ヲ送ルコト前後二回、千九百三十年ヨリハ「アマゾニア」産業研究所内ニ、農事試驗場、病院、氣象臺、學校ヲ設立シテ農作物ノ試作栽培、衛生保健、氣候風土ノ調査、人材ノ養成等ニ當リ、千九百三十三年ヨリハ模範植民地ヲ建設シテ、衛生、教育、交通、通信、農事其他ノ諸般ノ施設ヲ行ヒ、多數ノ植民者ヲ入植セシメテ、此事業ノ經營ヲ爲シ來ツタノデアリマス、前人未踏ノ原始林ヲ伐採シテ、二千餘町步ニ

近キ現在ノ耕地ヲ開拓シ、「アマゾン」ニ於ケル新農法ヲ確立スルマデニ、私等ハ巨額ノ資金ヲ投ジ、多數ノ人命ヲ犠牲ニシ、有ユル障礙、有ユル困難ト闘ヒナガラ今日ニ至ツタノデアリマス、而シテ今ヤ漸ク前途ノ光明ヲ見出サントスルニ當ッテ、突如トシテ憲法ヲ蹂躪シ、正道ヲ枉屈シテマデモ、私等ノ事業ノ根柢ヲ覆ヘスガ如キ事ヲセラ、ルニ至ッテハ、私等ハ其不信ヲ憤ルト共ニ、實ニ自ラ屈辱ニ堪ヘナイノデアリマス、勿論私等ガ前人未踏ノ新世界ニ突入シテ新社會ヲ創建シ、新文化ヲ樹立セントスルニ當ッテハ、幾多ノ困難アリ、壓迫アリ、障礙ノ來ル事ハ覺悟シテ居リマス、然ルガ故ニ本問題ノ勃發スルヤ、私共ハ有ユル方法ヲ盡シテ我等ノ主張ヲ闡明シ、一部頑迷ナル反對論ニ對抗シテ參リマシタ、私ハ當面ノ責任者タル會社ノ社長トシテ、又個人トシテ私ノ能フ限りノ力ヲ盡シマシタ、併シナガラ微力遂ニ聯邦上院ノ決議ヲ阻止スル事ガ出來マセヌデシタ、而シテ既得權ニ關スル最後ノ決定ハ、司法裁判ノ判決ノ上ニ殘サレテ居ルノデアリマスガ、徒ラニ裁判所ニ於テ爭フト云フコトハ時日ヲ遷延シ、巨額ノ費用ヲ投ズルノミデアリマスカラ、會社トシテ何時マデモ掛ッテ居ル譯ニハ參リマ

セヌ、此上ハ或ハ諸般ノ資料ニ依リ本契約ノ法律的效果ヲ徹底的ニ御檢討ノ上、政府ヨリ「ブラジル」政府ニ對シテ公式ニ交渉セラレ、我が既得權ヲ確保シ、我等ガ安ンジテ開墾拓殖ノ業ニ從ヒ得ル様御處置アランコトヲ、偏ニ切望スル次第デアリマス

○野村委員長 漢那君

○漢那憲和君 私ハ海外移住組合ニ關スル法律案ニ付キマシテ、拓務省、外務省ノ政府委員ニ伺ヒタイノデアリマス、此法律案ノ御趣旨ハ海外發展ヲ助成シヨウト云フコトニアリマシテ、洵ニ結構ナコト、思フノデアリマスガ、新ニ出來ントスル會社ノ内容ヲ檢討シマスルト云フト、殆ド是ハ大分政府ノ持株デアリマシテ、會社其モノガ詰リ政府ノ事業デアルト云フ感ヲ呈シテ居ルノデアリマス、今日排日熱ノ相當喧シイ「ブラジル」ニ於テ、新ニ又政府ノ事業ト見ラレルヤウナ形式デ、移住組合ヲ補助シテ行カウト云フ此ヤリ方ガ妥當デアルカドウカト云フコトニ付テ、私ハ非常ニ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、申ス迄モナク移住組合其モノモ、又別ニ「ブラジル」拓殖株式會社ナルモノヲ新ニ設ケテ、サウシテ其名義デ移住組合ノ關係シテ居ル土地ヲ租借シテ居ルト云フヤウナ工合ニ、排日ノ原因ニナル

ヤウナコトヲ避ケラレル上ニ於テ餘程注意ヲシテ居ラル、ノデアアル、尙亦昨年ノ如キハ拓務省カラ發行サレマシタ拓務要覽ノ中ニ、政府トシテ移民ニ、例ヘバ船賃ヲ補助シテ居ルトカ、ソレカラ其他色々補助ヲシテ居ルト云フコトヲ書イテアル、是ハマア報告トシテ善意ニ書カレタモノデアリマスルガ、之ヲ「ジュネーブ」ニ居ル或ル邦人ガ、ヤハリ是モ善意デ、日本ノ政府ハ斯ウ云フ風ニ移民ニ對シテ力ヲ盡シテ居ルノダト云フ其善意ノ考カラ翻譯ヲシテ「ジュネーブ」ノ新聞ニ掲ゲタ所ガ、是ガ又排日ノ種ニナリマシテ、日本ノ政府ハ「ブラジル」裏面カラ侵略シヨウトシテ居ルモノデアルト云フ排日家ノ口實ニナッタ例モアルノデアリマス、斯様な場合ニ於テ、特ニ政府事業ト誤マラレルヤウナ形式デ、移住組合ヲ補助サレナクテモ、例ヘバ其貸金ノ利子ヲ補助シテヤルトカ、或ハ又相當期間ソレヲ延期シテヤルトカ云フヤウナ形式デ、移住組合ヲ補助サレル方法ハナカッタノデアラウカドウデアラウカ、此點ヲ御考ニナツタカ、ソレヲ拓務當局ニ伺ヒタイノデアリマス

ソレカラ外務當局ニ伺ヒタイコトハ今申上ゲル通り、現ニ「ブラジル」デハ相當ニ排

日熱ガ盛ンデアアルノデアリマスガ、此問題ヲ協議サレタ時ニ外務本省ハ勿論ノコトデアリマスガ、「ブラジル」ノ出先ノ官憲ノ意嚮モ能ク調査サレタノデアルカ、ソレト云フノハ私仄カニ聞キマスルト云フト、「ブラジル」ニ於ケル外務省ノ出先ノ官吏ノ中ニハ、是ハ公式デハアリマセスガ、固ヨリマア世間話、内緒話ト云フ程度デアリマスケレドモ、此問題ヲ捕ヘテ、又一ツ面倒ナモノガ殖エタト云フコトヲ言ッテコボシテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデゴザイマス、果シテ出先ノ官憲ト能ク打合ヲサレテ、斯様なコトヲシテモ大丈夫ダ、之ニ依ッテ排日熱ヲ刺戟スル虞ハ萬々ナイ、斯ウ云フ見透シヲ付ケラレテヤッタノデアルカ、此點ヲ御伺シタイ

○岡本政府委員 只今御尋ノ外務省ノ方ニ關スル點ヲ御答致シマス、此海外移住組合ノ改組案ノ計畫ガ出マシテカラ、拓務省ノ方カラ御協議ヲ受ケマシテ、早速當時斯ウ云フ計畫ガアルカラト云フコトハ、概略海外出先ノ總領事、領事ニ知ラセタノデゴザイマス、且ツ出先官憲ノ意見ヲ徴シマシテ、今仰セラレマシタ通りニ、此計畫ノ爲ニ何等カソコニ誤解デモアリマシテ、出先ノ官憲ハ無論ノコトデゴザイマスガ、在留民ノ

間ニ何カ不滿ノ氣分デモ抱クヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ遺憾デゴザイマスカラ、其點ハサウ云フコトガ無イヤウニ事前ニ其手續ヲ履ミマシテ、其結果領事カラハ意見ノ具申ガアリマシテ、ソレヲ更ニ拓務當局ト御諮リ致シマシテ、拓務當局ノ方デモ出先領事ノ意見モ相當御容レ下サイマシテ、此案ガ出來マシタ譯デゴザイマス、其點ニ付キマシテハ昨日モ御質問ガゴザイマシタノデスガ、外務本省ト在伯外務出先官憲トノ間ニハ、十分諒解ガ出來テ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○漢那憲和君 只今ノ政府委員ノ御話ノ通りデアレバ、私モ別ニ心配ハナカラウト云フ風ニ考ヘラレマスガ、尙ホ之ニ對シテ拓務當局ガ他ノ方法デ、今例ヲ申上ゲマシタヤウニ、ドウセ是ハ移住組合ヲ補助シヨウト云フ目的ニハ相違ナイカラ、他ノ方法デアラレテ、今ノヤウナ排日熱ノアル今日、向フノ政府及ビ國民ヲ刺激スルヤウナ方法ヲ避ケテ、他ノ方法ニ依ッテヤルト云フコトヲ御考ニナラナカッタノカドウカ、其點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○入江政府委員 御尋ノ點ニ御答致シマスガ、御承知ノ通り海外移住組合聯合會ニ對シテ、政府ハ金ヲ貸シテ居ルノデゴザイマ

ス、其金ニ付キマシテハ一定ノ年限ガアリマスノデ、年限ガ來レバ之ヲ返サナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッデ居ルヤウナ譯デアリマス、所ガ今日ノ「ブラジル」ニ於ケル日本人ノ移住狀況ト云フモノハ、非常ニ盛ニナッデ居リマシテ、今後經濟ノ地歩ヲ確立セシムルニ付テハ、何等カノ方法ヲ講ジテヤラナケレバナラス、又此事業ハ永久ニ相續サセナケレバナラス、斯ウ云フ點ニ著眼シマシタ結果ガ、今日ノ海外移住組合聯合會ニ貸付ケテ居リマスル金ハ、約二十萬町歩ノ土地ヲ取得シテ、此土地ヲ「ブラジル」ニ移住スル日本人ニ分讓シテ居ル譯デアリマス、此分讓シテ居ルノガ終ッデシマフト、此事業ハ消滅シテシマフコトニナルノデゴザイマス、ソコデ此事業ガ此儘期限ガ來テ、回收サレテシマッタバ消滅スルト云フコトデアレバ、將來「ブラジル」ニ於ケル日本人ノ發展ノ上ニ、非常ニ不便デアルト云フコトカラ考ヘタノガ、即チ此案ナノデゴザイマス、即チ政府ガ貸付ケテ居リマスル金ヲ、恆久的ニ「ブラジル」ニ於テ生カシテ行カウト云フ考カラシテ、政府ノ貸付ケテ居リマスル金ヲ株式ニ引直シテ、サウシテ其會社ノ事業トシテ邦人ノ發展ノ上ニ付テノ經濟的援助ヲシヨウ、斯ウ云フ趣

旨デゴザイマス、ソレデ此政府ノ貸付ケタ金ヲ期限ガ來テ返シタラ、又貸シテヤッタ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ議論ハ一應立チ得ルノデアリマス、サウナレバ或ハ其點ニ於テハ目ハ達スルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、御承知ノ通り政府ノ今日ノ事情ハ、中々回收サレタ金ヲ再ビ貸スト云フコトハ難カシイノデゴザイマス、其點ニ於テ時ノ財政狀態ニ於テ、果シテ毎年回收サレタ金ガ貸付ケルコトガ出來ルカト云フト、サウ云フ譯ニ行カナイノデアリマス、ソコデ法律的ニ此「ブラジル」ニ於ケル移民事業ヲ助長スル爲ニ、斯ウ云フ方法ヲ採ッタ譯デアリマス、只今外務省ノ方カラ御話ガアリマシタヤウニ、此點ニ付キマシテ「ブラジル」方面ニ於ケル排日的氣勢ヲ煽ルコトガアリハシナイカト云フコトニ付テモ、深甚ノ考慮ヲシテ、サウシテ此會社ヲ作ルニ付キマシテモ、實ハ民間ノ有力者ヲ網羅シテ居リマスル海外拓殖委員會ト云フ會ガアルノデアリマス、其會ニモ諮問シマシテ、財界ノ有力者ノ意見ヲ聽イタノデアリマスガ、皆サンノ意見ガ至極適當デアルノダラウト云フ答申ニ依リマシテ、此案ヲ提案シタヤウナ次第デアリマス

○漢那憲和君 回收シタ金ヲ又貸付ケルト云フコトハ、非常ニ難シイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、ソレハ難カシイカモ知レマセヌガ、今マデ例ノナイコトデハアリマセヌシ、又海外發展ト云フコトニ理解ヲ持ッテ居ル政府トシテ、大藏省ガ之ヲ絶對ニ受付ケヌト云フコトハ私ハナイと思フ、ソレカラ海外植民調查會ニ諮問サレタト云ハレマスルケレドモ、兎角中央デ以テ移民ノコトヲ考ヘラレル人々ハ、出先ノ移民ノ心ト云フコトガ能ク分ッテ居ラレナイ、私モ先年「ブラジル」ニ參リマシテ、直接移民ニモ接シテ參リマシタガ、出先デハ移住組合デアルトカ、或ハ海外興業ノヤリロニ付テ、不平不満ヲ漏ラス者モ可ナリアリマシタ、是ハ併シ悉ク之ヲ取上ゲルト云フコトハ出來マセヌ、勿論國策トシテ移住組合モ必要デアルシ、興業會社ノ援助モ必要デアリマスルガ、出先デ以テ排日ノ爲ニ移民ガ非常ニ苦シンデ居ル、其狀況ガ中央ニハ能ク分ッテ居ラナイ、ソレガ御分リニナレバ、此調査會ニシテモ答申スル場合ニ、回收シタ金ヲ又貸付ケル位ノコトハ、モウ一舉手一投足ノ勞デアル、サウシテ向フノ政府ニモ、國民ニモ何ノ「センセーション」ヲ與ヘナイデ旨クヤレル、又一面ニハ現ニ七百五十萬圓ノ金ヲ移住組合ニ援助シテ居ル、是ハ政

府ガ貸付ケテ居ルノデアルカラ、此事實ハモウ周知ノコトデアアルノデアルカラシテ、之ヲ株式ニ直シテ、會社ニシタ所ガ別ニ更ニ新ニ「センセーション」ヲ起サナイデアラウト云フコトモ言ハレタト云フコトデアリマスガ、是ハ餘程違フ、私ハ此會社ガ立ツト云フコトニナリマシタラ、之ヲ種ニシテ必ズ排日ノ記事ガ新聞ニ現レルト云フコトハ信ジテ居リマス、外務省モ出先ノ官憲ト申合セテ、何等意思ノ阻隔ハナイ、十分ノ處置ヲシタカラ安心ダト、斯ウ云フ風ニ仰セラレマスケレドモ、一應ハ私ハ其御答辯ヲ諒承シマスガ、併シ私ハ必ズ此會社ガ出來ルト云フコトニナッタラ、「ブラジル」ノ新聞ニ排日記事ガ現レルト云フコトヲ今カラ斷言シマス、私ハ拓務當局ガ斯様ナコトヲセラレナイデ、他ノ方法デ移民ノ保護獎勵ヲヤラレナカッタ、其手段ヲ執ラレナカッタコトニ對シテ、非常ニ私ハ遺憾ニ思ッテ居ル者デアリマス

○野村委員長 川崎君

○川崎委員 昨日私ガ御尋申上ゲ、尙ホ資料ノ御提出ヲ願ヒマシタコトニ付キマシテ、更ニ續イテ若干ノ御尋ヲ致シタイと思ヒマス、今日御提出下サイマシタ資料ニ付キマシテ、從來政府ガ企業費ノ資金トシテ

貸付ケマシタ高、或ハ生産資金トシテ貸付

ケマシタ此貸付金ニ對スル政府ノ貸付條件

ヲ御知ラセテ願ヒタイコトヲ要求致シタノ

デアリマスガ、單ニソレニ付テハ据置年限、

年賦償還ノコトダケノ簡單ナモノデゴザイ

マスガ、私ガ承知致シタイと思ヒマスノ

ハ、是レ以外ニ何等カノ各種ノ條件ガ政府

カラ付ケテナカッタモノカドウカ、其條項ヲ

承知致シタイト存ジテ御尋致シタノデス、

何等ノ是レ以外ニ條件ガナケレバ宜シイ

ガ、アレバソレヲ御示シ願ヒタイ、尙ホ御

提出ニナリマシタ資料ニ依リマシテモ、企

業費ニ致シマシテモ、生産資金ニ致シマシ

テモ、ソレノ第一回ノ貸付ハ昭和二年、

或ハ昭和四年カラ貸付ケテ居テ、企業費ハ

三箇年ノ据置デ五箇年ノ年賦償還、生産資

金ニ於キマシテハ、二年据置ノ翌年カラ償還

スル、斯様ニ相成テ居ルノデアリマスガ、

ソレガ果シテ其最初ノ條件ノ通りニ政府ニ

回收サレテ居ルカドウカ、若シ回收サレテ

居ナケレバ、其後ノ經過ニ付テ御伺致シタ

イノデアリマス

○武田政府委員 政府ノ移住組合聯合會ニ

對スル貸付條件ト云フノデ、最モ簡單ニ申

上デゴウト思ッテ、實ハ差上ゲタノデゴザイ

マスガ、實際貸付ケマス場合ニハ、聯合會

ニ對シテ普通ノ貸付ノヤウナ條項ヲ規定シ

テ居リマス、其條項ト云フノハ、大體此經

費ハ企業費ノ場合ニハ、移住地ニ對スル入

植者ニ對スル分譲ニ必要ナル施設ヲ行フ

——ハッキリ記憶致シマセヌガ、道路ノ築

造、或ハ踏査、分譲、區劃等ノ費途以外ニ

充テ、ハイケナイト云フコトガアリマス、

ソレカラ其費途以外ニ充テルトカ、或ハ指

令ニ違反シタ場合ニハ、ソレヲ取戻スコト

ガアルカモ分ラヌ、或ハ又此貸付金ニ依ッテ

利息ガ生ジタ場合ニハ、之ヲ施設費ニ充當

セヨト言ッタヤウナ條件ヲ付ケテ、是ハ拓務

省ガ聯合會ニ交付スル場合デアリマスカ

ラ、サウ云フ風ナ條件ヲ付ケテ居リマス、

サウシテ貸付條件ト致シマシテハ、三年据

置、五年償還ト云フコトニシテ居ル譯デア

リマス、ソレカラ回收ノ成績ガドウデア

カト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタガ、當

初ノ移住組合聯合會ノ事業計畫ニ依リマス

ト、珈琲ヲ主作物ト致シマシタ關係上、非

常ニ早ク回收ガ出來ヨウト云フ豫想ノ下

ニ、三年据置、三年間デ移住者カラ回收ス

ルコトニナッテ居タ譯デアリマス、併ナガ

ラ此種ノ事業ト致シマシテ、六年デ土地代

ヲスッカリ回收シテシマフト云フコトハ、事

實上相當困難デアリマスルシ、殊ニ昨日來

御説明致シマシタヤウニ、珈琲ガ不況ニナッ

テ、値段ガ暴落スルト云ッタヤウナ狀態デ、

移住者ノ收支ニ當初ノ計畫ト齟齬ガアリマ

シテ、ドウシテモ是ハ延長シナケレバナラ

ヌト云フヤウナ狀態ニ立至リマシタ爲ニ、

昭和六年ニサウ云フ條件ヲ變更致シマシ

テ、入植後十箇年間ニ償還サセルト云フコ

トニ、條件ヲ變ヘタ譯デアリマス、サウ云

フ條件ノ下ニ回收シテ參ッタノデアリマス

ガ、其回收ノ成績ハ大變宜シウゴザイマシ

テ、殊ニ棉ガ豐作デ値ガ好イト云フヤウナ

譯デ、昨年度、一昨年度アタリノ回收成績

ハ、貸付金ノ中償還期限ノ到來シテ居ルモ

ノ、約八割ハ、回收シテ居ルト云ッタヤウ

ナ実績ヲ示シテ居リマス、尙ホ先程申シ落

シマシタガ、昭和七年度以後ニ於テハ、移

住者ニ對スル土地代ノ貸付金ガ、十年間償

還ト云フコトニ改メラレマシタ爲ニ、政府

ガ聯合會ニ對スル貸付金モ亦ソレニ準ジテ

三年据置、十年償還ト云フコトニ變更ヲ見

テ居ル次第デアリマス

○川崎委員 只今伺ヒマシタガ、私ガ御尋

致シテ居ルノハ、政府ガ移住組合聯合會ニ

貸付ケテ居ル、其償還ノ從來ノ成績ナリ、

經過デアリマシテ、聯合會ガ更ニ移住組合

ナリ或ハ移住者ニ直接貸付ケタ其金ノ回收

ノコトヲ伺ッテ居ル譯デハナイ、今伺ヒマシ

タラ聯合會ガ更ニ貸付ケタ金ノ償還ハ八割

以上モ回收サレテ居ル、何故聯合會ガ政府

ニ對シテ貸付條件ノ償還年次ニ從ッテ返サ

ナカッタカ、又返サセナカッタカ、其事ガ私

ハ問題ダと思フ、聯合會ガ一方デ貸シテ居

ル金ハ回收スルケレドモ、政府ニ對シテハ

一向返サヌト云フコトハ甚ダ吾々腑ニ落ち

ヌノデアリマス、其點ヲ御尋シテ居ルノデ

アリマス、尙ホ御提出ノ資料ガ甚ダ簡單デ

アリマシテ要領ヲ得マセヌガ、七年以降ニ

付テハ貸付條件ヲ更改サレルト云フカ、變

更サレタノカモ知レマセヌガ、既ニ昭和二

年カラ昭和四年マデ、或ハ生産資金ニ付テ

ハ昭和六年以後御貸付ニナッタモノモアリ

マス、是等ニ付テモウ少し具體的ニ、貸付

條件ト、其條件ニ從ッテ回收シタ場合ニ於

テ、ソレヲ聯合會ガナゼ政府ニ今迄返サナ

カッタカ、又ソレ等ニ付テ變更サレタノハ、

如何ナル理由デ變更サレタカト云フコトヲ

伺ヒタイノデアリマス

○武田政府委員 聯合會ガ最初ニ政府カラ

借入レマシタ時ノ借入條件ト云フモノハ、

昭和二年度ニ極ク僅カノ金ヲ借りマシタノ

デ、据置期間ガ三年アリマス爲ニ、昭和六

年度カラ償還スルコトニナッテ居リマス、所

ガ昭和六年度デハ元利合セテ慥カ二千四百圓バカリダッタ思ヒマスガ、ホンノ僅カノモノデアリマシテ、是ダケノモノハ償還シテ居ルノデアリマスガ、大體聯合會ノ收支ノ狀況カラ申シマシテ、借入レテ條件通りニハ迎テモ返セマセヌヤウナ状態ニアリマスノデ、其償還ノ期限ヲ延長シテ貰フト云フ案ヲ拵ヘテ、大藏當局ヘモ交渉致シタヤウナ事情デアリマス、ソシテ實際聯合會ノ收支ノ計算上下ウシテモ昭和十年度以降デナイト、償還スルダケノ餘裕ガ生ジテ來ナイト云フ状態ニアルノデアリマス、ソレハ同收致シマシタ金額ノ中ノ一部分ハ、是カラ將來移住者ヲ未分讓地ニ入レヤウト云フ事業ニ、ドウシテモ之ヲ授下シナケレバナラヌ状態ニアルノデアリマス、回收シマシタカラト云ッテ、ソレヲ左カラ右ニ全部政府ニ返シテシマフト云フコトニナリマス、ドウシテモ將來ノ事業ガ實行シテ行ケナイヤウナ状態ニアルノデアリマス、其爲ニサウ云フ風ナ事業上ノ財源等ヲ考慮致シマシテ、償還シ得ル財源ト云フモノヲ見込ミマシテ、昭和十年度以降昭和二十三年位マデ、之ヲ繼續シテ返サセルト云フ見込ガ立ッタンデアリマス、昭和十年度ニ於キマシテハ十八萬四千圓バカリノ金ヲ、元利合計シテ

ソレダケデアリマス、ソレダケノモノヲ返シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ本年度ニ於キマシテハ、約五十七萬圓バカリノ金ヲ政府貸付金處理委員會ニ掛ケマシテ返スト云フ運ビニナッテ居リマス、現地ノ方カラモ大體ソレ位ノ金ハ返セサウダト云フコトヲ言ッテ居リマスノデ、聯合會ヲシテ本年中心ニ返サセル積リデ居リマス、大體サウ云フヤウナ事情デアリマシテ、聯合會ノサウ云フ償還計畫等ノ數字ノ出マス基礎ト云フモノハ、是ハ非常ニ詳細ナ調査ヲ作ラセマシテ、此調査ニ基イテ計算シテ居ルノデアリマス、此計畫ノ本ニナリマスノハ過去ノ入植者ノ實績ト、ソレカラ將來ニ於テ分讓致シマス分讓計畫ニ基キマシテ、何年度ニハ幾ラバカリノ金ガ返ルト云フコトヲ、詳細ニ説明致シタ調査ガアルノデアリマス、之ニ基イテ償還ガ可能デアルト思ハレル金額ヲ計算致シタ次第デアリマス、此調査ハ非常ニ複雑ナモノデアリマスガ、拓務省ニ於テハ十分ニ之ヲ調べマシテ、諒解シテ居ル次第デゴザイマス

○川崎委員 ドウモ残念ナガラ諒解致シ兼ネルノデアリマス、ソレデ私ハ同ジ御尋ヲスルノハ恐縮デスガ、尋方ヲ變ヘテ御尋致シタイ、其方ガ却テ早ク分ルト思フ、茲ニ政府出資金ノ七百二十五萬圓ノ算出基礎調ヲ御提出ニナッテ居ル、其中償還濟ガ昭和六年度カラ十年度ニ至ル海外企業費ノ貸付金ガ十三萬五千圓餘、同利子ガ四萬八千圓餘、合計十八萬四千圓餘、ソレダケ償還サレテ居ルコトニナッテ居ル、之ヲ同ジク御提出ニナリマシタ企業費ノ貸付金額償還年次表、是ハ何時更改サレタノデスカ私ハ今頂戴シタ、ソレト生産資金借入金償還年次表ト云フモノヲ對照スルト、十八萬四千幾ラカ償還サレテ居ルノデアルガ、各年次毎ニドノ分ガドレダケ、貸付金ナリ利子ナリガ政府ニ償還サレテ居ルノデアルカ、其明細ヲ一ツ御出シ願ヒタイ、尙ホ伺ッテ居リマスト云フト、一言ニシテ御推測申上ゲレバ、最初ノ場合ノ貸付ノ條件ト云ヒマスルカ、餘ル据置年限ガ短カッタ、又年賦償還ノ期限モ短カッタ爲ニ實際ニ於テノ事情ニ即セナイ、ソレデ事實其最初ノ計畫通りニ償還スルコトガ困難デアル、ソレガ爲ニ聯合會トシテモ豫期ノ通りノ貸付金ノ回收ガ出來ナイ、隨テ政府ニ對シテモ最初ノ通りニ、貸付金ノ條件通りニ償還スルコトガ困難デアッタ、又一部回收成績ガ良クナッタ場合ニ於テモ、ソレヲ政府ニ返スヨリモ、外ノ事業ニ充テタイカラ返スノ御猶豫ヲ願ヒタ

イト云フコトデ、政府ハソレヲ認メテ昭和七年カ何時カニ、貸付條件ナリ總テノモノヲ、從來ノモノヲ更改サレタト承ルノデスガ、然ラバ七年度ニ於テドウ云フヤウニ貸付條件、償還年次表ヲ變更サレタカ、其經過ハ一向是デハ分リマセヌ、尙ホ今マデ聯合會ニ償還サレテ、政府ニ對シテハソレヲ返シテシマフト、聯合會ノ事業ガ出來ナイカラ、ソレヲ他ノ事業ニ轉用シタ、ソレヲ政府モ認メタト、斯ウ云フ風ニ伺ッタンデアリマスガ、果シテサウデアリマスカ

○武田政府委員 昭和七年度以降ニ於キマシテハ、土地ノ購入費ト云フモノハ全然豫算ノ中ニモ見込シテ居リマセヌノデ、新シイ土地ヲ買フテ、其方ノ事業ニ轉用スルト云フコトハ言ハレナイト考ヘテ居リマス、此聯合會ノ事業計畫ト云フノガ、毎年五百家族ナラバ五百家族、六百家族ナラバ六百家族ト云フモノヲ分讓スルト云フコトヲ、實際ノ分讓計畫ヲ現地ニ於テ立テマシテ、サウシテ其計畫通り年々進行スルコトニナッテ居ルノデアリマシテ、謂ハハ既ニ持ッテ居リマス所ノ未分讓地ヲ、將來ニ於テ分讓スルト云フ計畫ヲ實行スル爲ニ要スル資金デアリマス、是ハ詰リ聯合會事業ヲ完成スル爲ニ、ドウシテモヤラナクテハナラヌ

仕事ナンデアリマシテ、他ニ事業ヲ新ニ求メテ、其方ニ轉用スルト云フヤウナ意味デハナイノデアリマス、ドウシテモ此未分譲地ノ分譲ト云フモノヲ繼續シテ行キマセヌト云フト、將來ノ償還計畫ト云フモノガ立チマセヌノデ、是ハ一々既ニ持ッテ居ル土地ノ現狀ニ付テ、分譲計畫ヲ立テ、居ル次第ナノデアリマシテ、其費用ニ要スル金ト云フモノヲ、回收シタ金額ノ中カラ一部分投下スルト云フコトハ、已ムヲ得ヌモノト云フコトニシテ承認シタ次第デアリマス、ソレカラモウ一ツ、ナゼ聯合會カラ政府ニ對スル償還ガ遅レタカト云フ點ニ付テ御答申上ゲマス、聯合會ガ移住者カラ相當ナ金額ヲ回收スルコトガ出來ルヤウニナリマシタノハ、大體昭和七年度以降デアリマシテ、ソレ迄ノ回收成績ト云フモノハ先程申上ゲマシタヤウナ事情デ好クナイノデアリマス、又入植者モ當初ノ間ハ數ガ非常ニ少クテ、回收額ト云フモノハ何程モナカッタノデアリマス、ドウヤラ移住者カラ回收ラシイモノガ始ッタノハ、昭和七年度以降ナンデアリマス、所ガ其昭和七年度以降ニ於キマシテハ、何ト言ヒマシテモ移住者ノ數ハ何程モナイノデアリマス、其頃カラ年々五六百家族位ヅツ入

ルヤウニナッタノデ、今日ノヤウニ大體三千二百家族バカリ入ルヤウニナッタノデアリマス、所ガ此回收スル金額ト云フモノハ、移住者ノ收支狀態ヲ參酌致シマシテ、初メノ二三年間ト云フモノハ、極ク僅カナ金ヲ回收スルニ過ギナイノデアリマス、尤モ大部分ノ貸付金ヲ回收スルノハ、入植後五六年度以降ニナルノデアリマス、是ハ色々混農作ノ關係ト、移住地ヲ新ニ開拓シテ年々其面積ヲ殖ヤシテ行ク關係上、已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、直チニ相當ノ金額ヲ回收スル譯ニイカヌノデアリマス、デアリマスカラ、回收シタ金額ガ、相當ナ金額ニ達シテ償還デモ出來ルヤウニナリマシタノハ、ホンノコ、二三年ノコトナンデアリマシテ、ソレ迄ノ回收額ト云フモノハ極メテ少イモノデアッタノデアリマス、此回收シタ金額ヤ、ソレカラ又其他ノ政府カラ受ケル所ノ助成金、ソレト同時ニ又新ニ投下シナケレバナラヌ資金、其他ノ資金繰入りノ關係ハ、毎年之ヲ貸借對照表ナリ損益計算書ナリニ、明細ニ記シテ提出サセマシテ、拓務省デハソレヲ審査シテ居ル次第デアリマシテ、其點ハ今マデ粗漏ガナカッタト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來ルト信ジテ居リマス

○野村委員長 アッタノ御話ハドウモ抽象的ニナッテ困ルノダ、詰リ補助金ナラ補助金ノ額ハ、或ハ何千圓トカ、或ハ何百圓トカ、ソレハ何年度ニ受ケタトカ、其金ノ具體的ノ説明、詰リ政府カラ借りテ居ル金ハ、何年何月ニ是ダケノ金ヲ借りタ、サウシテソレニ對シテ當時ノ約束ハ斯ウ云フ償還ノ約束デアッタガ、移住民ノ收穫ガ少イ爲ニ思フ通りニ行カナカッタ、併ナガラ此二三年前カラハ、所謂アッタノ言フ混農トカ何トカノ農作物ノ關係デ、稍、思フ通りニ償却スルコトニナッテ來タト云フコトヲ、モウ少シ具體的ニ仰シヤルト大變宜ササウニ、私ハ側ニ居テ聽イテ居ッテ感ジマスガネ、ソレガ抽象的ニ流レテシマッテ、拓務省デハ是ハ間違ガナイト思フト云フノデハ、第三者ハハッキリト諒解シ難イノデアリマス

○武田政府委員 實ハ年々ノ貸付額及ビ補助金ノ額ハ、資料トシテ御手許ニ差上ゲテ……

○野村委員長 ソレハ此處デ仰シヤランケレバ……

○武田政府委員 此償還計畫ヲ變ヘマシタノハ、昭和十年度カラデゴザイマス、償還ヲ變ヘルト云フコトニナッテ、政府ノ承認ヲ得マシタノハ昭和十年度カラデアリマス、

貸付金處理法ガ出來マシテ、ソレニ基イテ出來マシタ貸付金處理委員會ニ、年々掛ケテ償還サセルト云フコトニナッタ譯デアリマシテ、昭和十年度ニ其處理委員會ニ掛ケマシタ結果、聯合會ノ財政狀態ヲ大藏當局ノ方デ調べマシテ、十八萬四千圓ヲ償還スルト云フコトニナッタ譯デゴザイマス、ソレカラ年々貸付ケマシタ金額ノ移住者カラノ回收ガ遅レマシタ事情ト云フノヲ、委員長ノ御話モアリマシタノデ、極ク簡單ニ申上ゲマス、此借入金ノ中デ殆ド大部分ニ屬スル金額ハ、御手許ノ資料ヲ御覽下サイマスト分リマス通り、昭和三年度ニ於テ三百三十八萬餘圓、ソレカラ四年度ニ於テ百七十萬圓、五年度ハ三十三萬圓バカリ貸シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ狀態デ、其後借りテ居リマス金額ト云フモノハ、比較的少イノデアリマス、要スルニ償還ガ其通り十分ニ出來ナカッタト云フコトハ、昭和三年度ノ三百三十八萬餘圓、四年度ノ百七十萬圓、五年度ノ三十三萬圓ト云フモノガ、固定シテシマッタト云フコトニナルノデアリマス、所ガ此昭和三年度ニ於キマシテ貸付ケタ三百三十八萬二千圓ト云フモノハ、昭和二年度ノ豫算ヲ繰越シテ、三年度ニ一括シテ之ヲ交付シタノデアリマス、其結果此

資金ヲ以テ現在持ッテ居リマス所ノ二十萬町歩バカリノ土地ヲ、非常ナ短期間ニ全部買ッテシマッタヤウナ譯デアリマス、其爲ニ借入レタ資金ト云フモノハ、廣大ナ面積ノ土地ニ固定シテシマッタト云フヤウナ事情ニアル譯デアリマス、サウシテ移住計畫ハ立テ、居リマシタガ、當時ノ計畫ハマダ將來ノ見透シガ十分ニ付イテ居リマセヌ爲ニ、内地カラ送出スル數モ少ク、豫定計畫通りニ行カナカッタト云ッタヤウナ事情ガアリマスノデ、此借入金ト云フモノハ土地トシテ固定シテシマッタ譯デアリマス、移住者ニ成タケ早ク餘計分讓スルコトニ依ッテ回收スベキ金ガ、移住者ガ入植シナイ爲ニ土地代トシテ固定シテシマッタ、其爲ニ回收ガ遅レタト云フコトガ一ツノ理由ト、ソレカラモウ一ツ先程御話シマシタヤウニ珈琲ノ單作ガ不可能ニナッタト云フコトニ依ッテ、移民ノ收支ノ點カラ回收ガ遅レタト云フ二ツノ原因ニ歸スルコトガ出來ルト思ヒマス

○川崎委員 要スルニ聯合會ガ政府ニ對スル償還ハ昭和六年度ニ僅カバカリ返シテ、後ハ十年度ニ其貸付金處理委員會ガ出來テ、ソレヲ決定スルマデハ少シモ返サナカッタ、サウシテ昭和十年度ノ際ニ其處理委員會ガ出來テ、其決定ニ基イテ從來ノ償還

計畫ヲ變更シテ、其際ニ申譯的ニ十八萬圓カ幾ラカ返シタニ過ギナイ、斯ウ云フコトニ決著致スノデアリマスネ、サウシテ生産資金ノ方ハ初カラ一文モ返シテナイ、斯ウ云フコトデスネ、ソレデ此點ハ此邊デ私打切りマセウ、次イデ昨日御願シマシテ今日御提出願ッタノデスガ、聯合會ノ現在ニ於テノ資産狀態ヲ承知致シタイト思ヒマス、一種ノ「バランス・シート」ノヤウナモノヲ只今御提出願ヒマシタガ、甚ダ私達ハ是ハ讀ミ惡イノデアリマス、別ニ「ブラジル」ノ拓殖組合ノ資産内容ト云フモノト「ブラグアイ」ノ同様ノモノヲ御配付願ッタノデアリマス、結局ドウ云フコトデスカ、「ブラジル」ノ拓殖組合ノ資産内容ト「ブラグアイ」ノ方ノ資産内容ヲ合セタモノガ、大體聯合會ノ實際上ニ於テノ資産ト云フ譯デスカ、ソレ以外ニモ聯合會ハコチラニ事務所ヲ持ッテ居リマスカラ、其方ニモ若干資産ガアラウト思ヒマス、吾々短期間ニ審議スル場合ニ於テ、一々斯ウ云フ「バランス・シート」ナシカラ點檢スル餘裕ガアリマセヌカラ、希クハ前ニ御提出ニナリマシタ「ブラジル」拓殖組合ノ資産内容ト云フヤウナモノヲ表ニシテ——私ノ要求ハ聯合會ノ資産内容ヲ承知致シタイ、「ブラジル」拓殖組合ノ資産内

容ト云フモノヲ、直接ニ要求シテ居ルノデハアリマセヌ、聯合會ノ資産内容ノ分ルノヲ一ツ御提出願ヒタイ、御手許ニゴザイマスレバ、是ハ簡單デスカラ其處カラ數字ヲ御説明願ヘバ宜シウゴザイマス

○武田政府委員 聯合會ノ資産内容ト申シマス、政府カラ受入レマシタ金ヲ、今日マデ海外ニ送ッテ居リマス金額ガ、約八百四十萬圓ニナッテ居リマス、ソレカラ國內デ移住組合——信濃移住組合デアリマスガ、之ニ貸付ケテ居ル金額ガ約十五萬圓、其外ニ國內ノ資産ト致シマシテ事務所、什器等ガ約一萬圓バカリ、ソレカラ預金、現金ガ二十三萬圓バカリ現在アリマス、ソレダケガ國內ノ資産デアリマシテ、國外ニ送金致シマシタ約八百四十萬圓バカリノモノガ、ドウ云フ風ニ國外ニ動イテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、御手許ニ差出シテアリマス伯貨建ノ資産負債表ニ依ッテ御覽願ヒタイト思ヒマス、國內ノ資産狀態モ御手許ニ出シテアリマス海外移住組合聯合會經理一覽表ト云フモノ、中ニ、其明細ガ認メテアル譯デアリマス、ソレヲ御覽ヲ願ヒマス、大體御分リニナルカト思ッテ居リマスガ、極ク概略ヲ申上グルト今ノ通りデアリマス

○川崎委員 計數ノコトハ材料ヲ御提出

願ッテ、コチラデ調べバ宜シイノデアリマスケレドモ、所管ノ事務デハ御分リニナルカモ知レマセヌガ、吾々短期間ニ法案ヲ審議スル場合ニ於テ、斯ウ云フヤウナ材料ニ依リマシテ一々計算ヲシテヤレト云フコトハ、甚ダ不親切デアリマス、モウ少シ材料ヲ整ヘテ居ナケレバ困ルノデアリマス、一寸是ハ餘計ナコトデゴザイマスガ……

○野村委員長 一寸ソレニ付テ……政府委員ハ此材料ヲ見テソレデ分ルヂヤナイカト言ハレマスガ、ソレハ今川崎君ノ仰シヤッタ通りニ、分ルニ相違ナイデセウ、分ルヤウニ書イテハアルデセウ、併ナガラ原則トシテハ、政府委員カラ資料ヲ出サレテ假令分ッテモ、尙ホ其實實ヲ政府ハ述ベテ、速記ニ取ッテ置クト云フコトガ原則ニナッテ居ルノデスカラ、資料ヲ見レバ分ルト云フデモ——假ニ分ッタトシテモ、ソレハ變則ナノデス、況ンヤ分ラヌト來テ居ルノデスカラ……細カク全部言ハナクテモ、大體普通ノ常識デ頭ニ入ルダケノコトハ、ヤハリ御述べニナッタラドウデス、細カイコトヲ全部述べルト云フコトハ中々困難デセウガ、大體常識的ニ分ル範圍ニ於テ述べタラドウデス、サウシナイト云フト、是ハ審議出來マセヌ、誰ガ見テモ頭ニ入ルダケノコトハシナケレ

バ……

○武田政府委員 御手許ニアリマス海外移住組合經理一覽表ト云フモノ、一番上ノ所ノ國內ノ部ト云フノト對照シテ御覽願ヒマス、大體御分リニナルト思ヒマスカラ、之ニ基イテ御説明ヲ致シマス、出資金ガ二十八萬九千五百圓ニナッテ居リマス、此中未拂込ニナッテ居リマスノハ九萬二千六百八十圓、其殘餘ハ既ニ拂込済デアリマス、是ハ昭和十年度末ノ決算ニ基イタモノデアリマシテ、昭和十年度末現在ニ於キマシテ、政府カラ借入レテ居リマス金額ガ、六百三十一萬二千四百四十六錢ト云フノガ企業費デ、八十九萬五千圓ト云フノガ生産資金デアリマス、ソレカラ此企業費、生産資金ヲ政府カラ借入レテ海外ニ送ッテ居ルノデアリマスガ、其内譯ガ此資金ノ部ニ計上サレテ居ル數字デアリマシテ、移住地造營資金六百二十八萬二千圓三十錢ト云フモノヲ送金シテ居リマス、是ハ現地ニ行キマシテ主トシテ土地ノ購入、或ハ區劃測量、道路ノ敷設、其他分譲ニ必要ナ事業ニ充テ、居ル經費デゴザイマス、ソレカラ生産資金ガ政府カラ借入レマシタ通りノ現金ヲ、其儘現地ニ送ッテ居リマス、是ガ八十九萬五千圓、ソレカラ施設資金、是ガ四萬

六千七百六十八圓六十錢、是ハ拂込出資金等ノ中カラ現地ニ送ッタ金額デアリマス、ソレカラ運轉資金トシテ六萬四千圓バカリ送ッテ居リマスガ、是等ガ内地カラ現地ニ送リマシタ金額デアリマス、ソレカラ内地ニ於ケル貸付金、先程一寸申シタノデアリマスガ、十五萬六千四百二圓一錢、是ハ信濃海外移住組合ニ内地ニ於テ貸付ケタ金額デ、是ガ貸付金トシテ殘デ居ルノデアリマス、ソレカラ其下ニアリマス六千五百四圓三十錢、四千八百八十六圓九十四錢是ガ現在東京ニ於ケル事務所ノ償却ヲ致シマシタ殘デアリマス、ソレカラ其外ニハ負債ノ方ニ一時ノ預リ金ト云ッタヤウナモノガ、僅カバカリアルダケデアリマシテ何モアリマセヌガ、資産ト致シマシテハ先程申シマシタヤウニ、二十二萬六千三百六十三圓六十八錢ト云フモノガ、預金現金ニナッテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ風ナ資産狀態デアリマシテ、先程モ申シマシタヤウニ受入レタ金額ノ大部分ト云フモノハ、海外ニ既ニ送出シテシマッテ居ルノデアリマス、國內於キマシテハ貸付金ノ十五萬六千餘圓ト、ソレカラ現在ノ事務所ノ建物、什器、竝ニ預金現金補充程度ニ止ルノデアリマス

○川崎委員 私ガ御尋致シテ居ル要點ハ、要スルニ移住組合聯合會ノ資産狀態ガ現在如何デアルカ、ソレヲ具體的ニ承知致シタイト云フ意味デ御尋致シテ居ル、ソレデ只今御答辯ニナリマシタガ、要スルニ海外ヘ送ッテシマッタ金ハ、ヤハリ移住組合トシテハ、其債權トシテ持ッテ居ルノデアリマス、移住組合ガ海外ニ土地ヲ買ヘバ、移住組合ガ所有者トシテ其土地ヲ持ッテ居ル、乃至ハ所有者トシテ不動産ヲ持ッテ居ルノデアリマス、或ハ他ノ組合ナリニ、更ニ轉貸ヲシテ、或ハ移住者ニ轉貸ヲシテ居ルノカ、債權トシテ持ッテ居ルノカ、其點ガ聞キタイ、私ハ聯合會ノ資産狀態ヲ伺ッテ居ルノデアリマスカラ、送金シタラソレデ資産ガナクナッタト云フノデハイカヌ、是ハ僅ニ現金ハ内地ニ於テノ十五萬幾ラカノ貸付金ト、現金二十二萬圓餘、其他事務所ノ什器其他ハ僅カデアリマス、ソレヲドウシタスウシタト云フノデハナイ、聯合會デ債權トシテノ形トシテ居ルカ、資産トシテアルカ、是ハ不動産其他ノ投資トシテ、ソレガ聯合會ノ資産トシテ持ッテ居ルノカ、サウ云フコトガ一向ハッキリ致シマセヌ當局ノ方デハ實際御取扱ニナッテ居ルカラ「ブラジル」ノ拓殖組合ナラ組合トシテ、其他ノモノヲ混同セズニ送ッテシマッタト云ッテモ、ソレヲド

ウ云フ形デ送金ヲサレテ、ソレガ債權ノ形デ殘ッテ居ルカ、土地ニ變ッテ居ルカ、或ハ病院ニナッテ居ルカ、學校ニナッテ居ルカ、ソレナラ誰ガ所有者ニナッテ、誰ノ名義ニナッテ居ルカ、ソレガ一向分ラヌ、澤山貸シタ金ヲ、如何ニ海外ニ送ッテシマッタ、一口ニ海外ニ送ッテシマッタ言ッテモ、企業資金トシテモ、生産資金トシテモ、ソレガ事實ニ於テ如何ニ運用サレテ居ルカ、使ハレテ居ルカ、或ハソレガ使ハレテ現在其效果ガドレダケアルカ、伺ッテ置キタイ、ソレ等ニ付テ一向分ラヌ、幾ラ「バランス・シート」ヲ御説明ニナッテモ、是デハ要領ヲ得ナイ

○武田政府委員 實ハ聯合會ト仰シヤイマシタノデ、内地ト云フコトニ感ジタノデアリマスガ、御話ノ趣意ハ能ク分リマシタ、「ブラジル」拓殖組合ニ宛テ、此聯合會ガ送金ヲシテ居ルノデアリマス、向フノ拓殖組合ニ於テ受取リマシタ送金ガ、ドウ云フ風ニ變ッテ居ルカト云フコトニ付テ内容ヲ申上ゲマス、ソレハ此表ノ中デハ、「ブラジル」拓殖組合ノ資産、負債、詰リ海外ノ部トシテ載ッテ居ル表ニ出テ居ル數字デアリマシテ、是ハ伯貸デ計算シテアリマス、ソレヲ今、最近ノ大體一圓ニ付テ五・ミル前後ニ、爲替相場ガ動イテ居リマスノデ、ソ

レデ、邦貨ニ換算シタモノデ、御説明申上
ゲテハドウカト思ヒマス、土地ハ大體未分
譲地ガ十四萬五千六百二十町歩……(川崎
委員)御答辯ノ途中デスガ此表ノ通りナラ
分ッテ居ルノデス「ト呼フ」ソレデハ、詰リ
「ブラジル」拓殖聯合會ニ對スル債權、送ッ
金ガ、内地ノ資産表ノ上ニ、形式上デハド
ウ云フ風ニ載ッテ居ルカト云フコトナンデ
スカ

○川崎委員 要スルニ私ハ大體想像ハ付イ
テ居ルノデス、推測モ付イテ居ルノデス、
併シ吾々ハ之ヲハッキリシテ置カナケレバ
ナラヌカラ御尋ネシテ居ルノデ、寧ロ私が
御答辯シタ方ガ宜イ位ニ思ヒマス、聯合會
ガ海外ニ送ッテ「ブラジル」拓殖組合ト云フ
モノガ、ソレヲ向フニ於テ法人組織カ組合
組織カ知リマセヌガ、聯合會トシテ之ヲ債
權ノ形トシテ有ッテ居ルカ、向フデ土地ヲ
買ッテ有ッテ居ルカ、聯合會ノ資産トシテノ
大部分ガ、債權ノ形ニナッテ殘ッテ居ルカ、
或ハ其殘金デ、向フデ移住組合ガ、送金ヲ
受ケタ金デ土地ヲ買ッタリ何カシテ、「ブラ
ジル」拓殖組合ト云フモノガ企業者トナッ
テ居リマスカ、隨テ其土地ヤ所有權其他ニ付
テ、總テ「ブラジル」拓殖組合ガ所有者デ
アリ、名義人デアッテ、移住組合聯合會ト云フ

モノハ、ソレニ對シテ所謂「ブラジル」拓殖
組合ニ對スル一種ノ債權者トシテ、債權ヲ
有ッテ居ルニ過ギナイ、斯ウ云フ風ニ吾々ハ
解釋シテ居ル、恐ラクサウダラウト思ヒマ
スガ如何デスカ

○武田政府委員 形式的ニハサウ云フコト
ニナッテ居リマス

○川崎委員 サウデセウ、サウナッテ來ル
ト、今度ノ會社案ノコトニ付テモ、ソコデ
又非常ニ私ハ問題ニナッテ來ルと思フ、聯合
會ト雖モ債權ヲ有ッテ居ル以外ニハ何等持ッ
テ居ナイ、ソレデ政府ガ今度ノ出資モ――
債權ヲ持ッテ、現物出資デスルノデセウ、此
現物出資ノ債權ト云フモノハ、聯合會ナラ
聯合會ガ今度主トナッテ、會社ヲ組織スルト
云フ場合ニハ、即チ其「ブラジル」拓殖組合
ニ對スル債權ノ形デ持ッテ居ル、是ガ事實ニ
於テ出資サレルト云フコトニナルヤウニ思
ハレルノデスガ如何デスカ

○武田政府委員 形式的ニハ全ク御説ノ通
リデアリマス、唯移住組合聯合會ト云フモ
ノト、「ブラジル」拓殖組合ト云フモノト、
聯合會ノ首腦者ガ、「ブラジル」拓殖組合ノ
「メンバー」ニナッテ居ル譯デアリマシテ、職
員等ガ向フニ駐在スレバ「ブラジル」拓殖組
合ノ職員トナリ、コチラニ歸レバ聯合會ノ

職員ニナルト云ッタヤウニ、實質的ニハ殆
ンド共通ニ扱ッテ居ルト云ッタヤウナ有様デ
アリマシテ、實際上ノ扱ト致シマシテハ、
一身同體ノモノデアルト云フコトニ見テ差
支ナイモノカト考ヘテ居ル譯デアリマス

○川崎委員 ダカラ私ハ「ブラジル」拓殖組
合ノ、是ガコチラノ法人ナリ組合トシテ成
立シテ居ルモノデアルカ、或ハ外國ノモノ
トナッテ居ルノカ、組合ノ定款ガアレバ定
款ヲ伺ヒタイ、ソレカラ「ブラジル」拓殖組
合ト聯合會トガ、サウ云フ立場ニ居ル場合
ニハ、如何ナル條件デ、如何ナル契約ニ依ッ
テ居ルカ、其内容ヲ御示シ願ヒタイ

○武田政府委員 ソレハ兩者ノ契約ハアル
ノデアリマスガ、今手許ニ持合シテ居リマ
セヌ、早速取寄セテ御説明申上ゲマス

○川崎委員 ソレハ拜見致シテカラニ致シ
マセウ、續イテ此出資金ノ算出基礎ニ付テ、
御尋致シテ置キタイト思ヒマス、從來政府
ノ貸付金ニ對シテ償還サレタモノハ、十八
萬幾ラデアリマスガ、ソレヲ差引イタ殘額
ノ中、更ニ十一年度ニ於テ償還サレルコト
ニ豫定シテ居ル額ガ、是ニ計上サレテ居リ
マス、此償還ハ前ニモ御説明ガアリマシタ
ガ、果シテ事實此通りデ何時マデニ、十一
年度中ニ本當ニハ償還サレルモノデア

カ、ソレハ現在其償還額ハ五十七萬、更ニ
序ニ御尋致シテ置キマスガ、追加償還金ト
シテ一萬四千圓、合セテ五十八萬四千圓ト
云フモノ、是ダケヲ償還サレル豫定ニナッ
テ居リマス、果シテ是ガ償還サレルカドウデ
アリマスルカ、聯合會ノ現在ノ「バランス・
シート」ニ依リマシテ、是ハ十年度デアリ
マスガ、十一年度ハドウナッテ居リマスカ、
恐ラク現金ハコチラニハ二十萬圓内外シカ
ナイ譯デアリマス、又國外ノ「ブラジル」拓
殖組合デアリマスガ、其方ノ現金有高ニ左
様ニ澤山今準備サレテ居ルヤウデモアリマ
セヌ、例ヘバ御提出ノ十年度末現在ニ於テ
ハ十八萬圓、本年度ドノ位ニナッテ居リマ
スカ、左様ニ澤山現金ハ無イ筈デアリマ
ス、サウスレバ、此年度内ニ於テノ各移住者
カラノ償還金ガ集ッテ來テ、ソレガ償還サ
ル譯デアルガ、七年、八年、九年ハ少シモ
償還サレナカッタ、十年ニヤット十八萬圓餘
リ償還サレタト云フノニ、今回五十八萬圓
ト云フモノハ果シテ斯ウ云フ狀況デ償還サ
レルモノカ、甚ダ私ハ疑ハシイト思ヒマ
ス、其點ニ付テ確信ガアリマスカ

○武田政府委員 此點ハ從來豫メ現地ノ方
ニ償還ガ出來ルカドウカト云フコトヲ駄目
ヲ押シテ置ク必要ガアルト思ッテ、現地ニ照

會致シマシテ、マダ年度ノ途中デハアリマスルケレドモ、事業ガ豫定計畫通り進捗スレバ、斯ウ云フコトニナルト云フ豫測ヲ立テ、居ルノデアリマシテ、ソレヲ極クブラマシ申上ゲマスト……

○川崎委員 ソレハ詳細ニ申シテ戴キタイト思ヒマス

○武田政府委員 前年度ノ繰越金ガ四十一萬一千九百萬圓、ソレカラ政府ノ借入金ガ十八萬圓、收入ノ部デアリマス、昭和十一年度中ノ繰越金ト、ソレカラ政府ノ借入金補助金ガ二十一萬九千五百圓、ソレカラ土地代回收金ガ五十七萬五千五百七十圓、生産資金ノ回收金ガ十五萬四百七十圓、受取利息ガ一萬四千七百五十圓、計百五十五萬二千九百九十圓、支出ノ方ハ土地購入代金ガ九萬七千七百六十圓、此土地購入代金ト云フノハ新ニ買フノデアリマセヌデ、前ニ買ヒマシタ土地ノ最後ノ年賦償還額デアリマス、生産資金貸付金ガ九萬圓、土地投資ガ十二萬八百三十圓、事業費ガ二十五萬五千五百圓、事務費ガ十四萬五千七百圓、計七十萬九千七百九十圓、其差引ガ八十四萬二千四百圓ト云フコトニナッテ居リマシテ、政府ノ償還金ノ五十七萬餘圓ト云フモノハ、此中カラ金繰リ上、出ルト云フ見込ガ

立ッテ居リマス

○川崎委員 ソレハ營利會社ノ拓殖會社ノ大體十一年度ニ於ケル收支ノ御豫定ナンデセウ、ソレハ豫算ト拜聴致シマスルガ、其豫算ニハ五十七萬圓ト云フモノヲ特ニ償還スルト云フコトデ豫算ハ組マレテ居ナイノデスカ、唯概算シテ收入ノモト出ル方ト、ソレダケ餘裕ガアルカラ返セルガラウ、斯ウ云フ御想像ニ過ギナイ、ソレデハマア内地ニ於テ又吾々ノ豫算ノ經理ナリ、内地ノ會社ノヤリ口ト餘程違ヒマスルカラ、何トモ斷定致シ兼ネマスルケレドモ、ドウモ甚ダ私ハ只今ノ御説明ダケデハ、果シテ是ガ償還サレルカドウカト云フコトニ付テ、十分ノ確信ヲ得ル材料トハ判斷出來ナイガ是ハ其程度ニ止メテ置ク

次デ御尋致シマスガ、先ニモ一寸御尋致シテ置イタノデアリマスルケレドモ、多少私ノ質問中ニ他ノ委員ノ諸君ノ質問ガアリマシテ、中斷致シマシタカラ若干重複致シマスルケレドモ、改メテ御尋致スノデアリマス、法制局長官ノ御出席ヲ願ッテ居リマシテ、招務當局ノ政府委員ニ伺ヒマスルガ、此會社ニ付テノ大體要綱ハゴザイマスルガ、ドウ云フヤウナ定款ノ内容デ御決メニ

ナルカ、其定款ノ要綱ハ大體見込ガ立ッテ居ルノデスカ、アリマスレバ、其内容要綱ヲ御示シ願ヒタイ、又特ニ其中ノ職員ノ組織或ハ社長ト申シマスルカ、副社長ヲ御置キニナリマスルカ、其他取締役或ハ名前ヲ理事トサレマスルカ、兎ニ角何レニシテモサウ云フ「スタッフ職員」ノドウ云フ組織ヲ以テ御當テニナリマスルカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○入江政府委員 新設會社要綱ト云フノヲ御手許ヘ差上ゲテ置キマシタガ、資本金ガ一千萬圓デアリマスガ、定款ニ付キマシテハ、マダ茲ニハッキリシタ定款ヲ別ニ御手許ヘ差出ス迄ニハ出來テ居リマセヌケレドモ、大體會社ガ商法ニ依ル會社ト同ジモノデアリマスルカラ、定款ニ付キマシテハ、普通會社ノ定款ガ大體ノ標準トナルガラウト思ッテ居リマス、併シ役員ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、取締役社長ト云フヤウナ制度ヲ採リタイト思ッテ居リマス、將來會社ノヤウナ別箇ノ名前ト云フヤウナモノニハナッテ居リマセヌガ、取締役デ以テ社長、事務取締、斯ウ云フ風ナモノヲ作リタイト、斯ウ思ッテ居リマス、大體役員ノ方ハ普通ノ商法ニ依ル役員ノ形ヲ取ッテ進ンデ行キタイト斯ウ思ッテ居リマス

○川崎委員 定款ガマダ要綱モナイト仰シヤレバ今要求致シテモ仕方ガナイノデアリマス、此法案ノ第二條ニ依レバ、定款ノ變更モ政府ノ認可ヲ得ナクチャ效力ヲ生ジナイト云フコトニ致シテ居ルノデスカラ、勿論此點カラ言ヘバ出資ノ關係ト言ヒ、其他ノ點カラ此會社ノ定款ハ事實上ニ於テハ、政府ガ御指ヘニナルモノト思ハナクチャナラナイシ、サウデナクテハ定款ノ變更ヲ認可シナケレバ、效力ヲ發生シナイト云フコトハ意味ヲ成サヌト思ヒマス、事實上ニ於テハ政府デ御指ヘニナルト、斯ウ思ウチ宜シウゴサイマスルカ

○入江政府委員 大體ニ於キマシテ御承知ノヤウナ會社デアリマスルカラ、此定款ノ認可ヲ政府ハヤリマスカラ、定款ヲ作ル時ニハ、政府ハ勿論此作成ニ付テハ十分與ッテ行クコトニナリマス

○川崎委員 續イテ其點ニ關聯シテ御伺シ、又希望モ申述ベテ置キタイト思フ、從來ノ政府ノ特殊會社ニ於キマシテハ、其役員ノ如キハ私達ノ考デハドウモ政府ノ特殊會社ト云フモノハ、民間ノ所謂純然タル營利會社トハ趣ガ違ヒマスルケレドモ、併ナガラ苟モ會社組織ヲ以テ政府ガヤハリ特殊

會社ト雖モ、營利ヲ目的トシテ商賁ニナラナケレバナラヌト云フコトヲ思ヒマスカラ、其意味カラ言ヘバ純然タル商會社ニ比較致シマスレバ、常ニ頭ト言ヒマスカ、上ノ方ノ職員、總裁デアルトカ、副總裁デアルトカ、社長デアルトカ、理事トカ、專務理事デアルトカ、サウ云フ頭ニナル人ノ待遇ハ洵ニ宜シイガ、下ノ實際ニ於テ手足ニナッテ働ク職員ハ却テ一般民間ノ會社ニ比較シテ見劣リガスル、而モ或ル場合ニ於テハソレ等ニ對スル俸給ハ薄イ、サウ云フ傾キガアルヤウニ私ハ思フ、此際從來ノ特殊會社ニ付テ具體的ニ其會社ヲ指摘シテヤルコトハ如何カト思ヒマスカラ、私ハサウ云フコトハ差控ヘテ居ル、實ハ殊ニ近來ノ特殊會社ニ付テ事實ヲ指摘シテモ吾々ハ政府ノ反省ヲ促シタイト思フ點モアルノデアリマス、碌ニ事業モ開始シナイデ、總裁副總裁ヲ拵ヘテ、ソレノ手當トカ、賞與トカ、又事實ニ於テ事業ヲ開始セズ、又ハ事業ヲ開始シテモ一文ノ利益ヲ擧ゲナイ中ニ、多額ノ報酬ヲ取り、賞與ヲ取ルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、斷ウ云フヤウナ人件費ノミニ掛ル、要スルニ是ハヤハリ御役所流ノ仕事ノ弊ニ流レテ、徒ニ人件費ヲ嵩マシテ、算盤ヲ忘レテシマフト云フ弊ガアルト思

フ、今回假ニ此法案ガ成立致シマシテ、會社ガ出來マシテモ、其點ニ付テハ御留意願ヒタイ、サウシテ其最高ノ職員ノ組織ト言ヒマスカ、スタッフノ組織ニ付テハサウ云フ點ニ付テ不必要ナ冗員ヲ設ケタリスル、ソレハ相當ノ待遇ヲシナケレバ良イ人ハ來ナイカモ知レマセヌガ、ドウカ從來ノ政府ノヤリ方ハ其點ニ遺憾ナ點ガアルヤウニ思ヒマスカラ、ソレ等ニ付テハ餘程御考慮ヲ煩サナクテハナラヌ、惡ク言ヘバ美名ヲ掲ゲテサウ云フ人ノ捌ケロヲ……私モ役人ノ浪人上リデアリマスガ、所謂官僚ノ古手ト言ハレルヤウニ——決シテ私ハ會社同僚デアッタ人ニ對シテ嫌味ヲ言ツタリ、又サウ云フ人ニ嫌ガラセヲ言ヒタクハナイノデアリマス、併ナガラ事實ニ於テ吾々ハ此頃ノ傾向ヲサウ云フヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フ會社ニ付テハサウ云フ所謂官吏ノ捌ケロデアルト云フヤウナ意味デ、徒ニ官僚ノ退職サレタ方ヲ以テ充テルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、ソレハ勿論良イ人ハ良イ人デ使ハナクテハナラヌガ、往々ニシテ特殊會社ニ依ッテハ遞信省關係ナラバ遞信省ノ古手ノ役人ヲ持ッテ行ク、農林省ハ農林省、鐵道省ハ鐵道省、マルデ自分ノ範圍ト言ヒマスカ、領分ノヤウニシテ一ツノ特殊會社、

或ハ甚シキハ其關係會社迄自分ノ職員ノ捌ケロノヤウニ考ヘテ、ソレニ對シテ相當ナ報酬ヲ出サセル、之ニ付テハ餘程一般ニ政府デ御考願ハナケレバナラヌコトガアルヤウニ思ヒマスカラ、今回ノ會社ノ如キハサウ云フ弊ガナイト私ハ確信致シマスケレドモ、サウ云フ一般ノ弊ニ陷ラナイヤウニ御願致シタイト云フ意味デ、餘計ナ憎マレロデアルカモ知レマセヌガ、申上ゲマス、其事ハ寧ロ役人ノ古手ノ私ガ言ツタ方ガ一般ノ人ヨリモ通りガ宜イト思ヒマス

ソレカラ昨日モ御尋シテ置イタクデアリマスガ、政府出資以外ノ他ノ二百七十五萬圓ノ出資ニ付テハ、要綱ニ依レバ組合、會員及ビ其他ノ關係者ト云フモノ、出資ト云フコトニナッテ居ッタヤウデス、其組合ハ分ツテ居リマスケレドモ、會員ガドウ云フ人デアルカ御示シ願ヒタイト申シテ居リマシタガ、マダ今回御示シガアリマセヌ、又其他ノ關係者ト云フコトニ付テ一應御説明ガアリマシタガ、是ハ段々仄聞致シマスル所ニ依ルト、事情已ムヲ得ナイ點モアリマシヤウニ思ヒマスケレドモ、何シロ今回ノ此案ハ洵ニ變態ダト思フ、出資ノ點カラ云ッテモ亦會社ノ種類ノ點カラ云ッテモ變態デアール、而モ其變態ヲ考慮セズシテ特殊關係者ノ出資ニ俟ッテ、如何ニモ局部的ノ關係者ノミガ、之ニ依ッテ國民一般ト一般經濟ト沒交渉ニヤルヤウニ思ハレル、此點モ巧クナイト思フ、寧ロ此際昨日カラ段々話ハアリマシタケレドモ、茲マデ吾々ノ審議ヲ進メテ行ッテ居リマス以上、サウス云フ點マデ懸念サレルコトハナイト思ヒマス、矢張彌ガ上ニモ公正ニヤル、苟モ其場合ニ於テ多少ノ公明ヲ疑ハレルヤウナ虞ノアル點ハ避ケラレタラ宜カラウ、其意味ニ於テ寧ロ公募デ行ク、サウシテ之ニ實際ニ應募サレル人ハ、此計畫ノ通り組合員、是ハ宜シイガ、會員其他ノ關係者ノ場合ハ公募サレテ、所謂政府當局ガ現在御見込ニナッテ豫想サレテ居ル關係者ニ限ルカモ知レマセヌガ、併シ會社設立ノ建前トシテハ一般國民ノ中、此會社ノ事業ニ共鳴シ或ハ賛成シ、之ニ應募シタイトモノガアル、ソレヲ拒ム理由ハ少シモナイト思フ、如何ニモ是デハ第三者ハ締切デ、從來自分達ノ關係シタ者デヤル、一ト口ニ言フト、政府ニ金ヲ償還シナケレバナラヌガ、ソレモ唯還シテハ詰ラヌカラ、自分達デ使ヒタイ、ソレモ聯合會其儘デハ資金ヲ還サナケレバナラヌノデ、會社ト云フ形ニシテ還サズニ置イテ、配當ハ優先的ニ配當シテ——政府ニハ僅カ一千萬圓ノ中

二百七十五萬圓ノ一般ノ株主ニ對スル配當
ガ六分ニ達スルマデハ片方ニハ配當シナ
イ、サウ云フ特典ヲ持ッテ居ル一部ノ人々
ガ、惡ク邪推スレバ、ウマイ事ショウ、ウ
マイ汁ヲ吸ハウ、政府ノ資金ヲ無利子デ使ッ
テヤラウト云フヤウニ思ハレテモ、甚ダ私
トシテ斯ウ云フ皮肉ト云ヒマスカ、皮肉ッ
タ、挾ッタ事ヲ申上ゲルコトハ心苦シイノ
デスガ、併シサウ云フ非難ヲサレテモ、多
少痛クナイ腹ヲ探ラレテモ辯解ノ辭ハナイ
ト思フ、出資者ハ局部デ——組合ハ公共的

分ニ戒慎シナクテハナラヌ、其意味ニ於テ、
苟モ公正ヲ疑ハレ、公明ヲ疑ハレルト云フ
ヤウナ點ハ避ケタガ宜カラウト思ヒマス、
其意味ニ於テ、私ハ出資者ヲ今迄ノヤウナ
御方針デ限定ナサレルト云フコトハ如何ト
思ヒマスガ、其點ニ付テノ政府ノ御所見ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

中々事情ガ分ラナイデ應募者ガナイダラウ
カラ、多分サウ云フ點ヲ懸念シマシテ成ベ
ク事情ニ明ルイ人ニ御願ヲシテ、持ッテ貰フ
ト云フヤウナ點カラ申上ゲタ迄ノコトデア
リマス、御話ニ出タスル會社ヲ作ルニ付キ
マシテハ、公正ト云フコトガ最モ必要デア
リマス、勿論公募ヲシマスコトニ付テハ、
是ハ不當ナ點ガナイノデアリマスカラ、御
話ノヤウニ、公募ト云フヤウナコトニ話ヲ
進メテ行キタイト、斯ウ思ッテ居リマス

ヲ通ジテ御願致シテ置イタノデアリマス
ガ、一言法制局長官ニ私ハ質シタイコトガ
アリマス
○野村委員長 今呼ビニ行ッテ居リマスカ
ラ……
○牧山委員 昨日要求シタ材料ノ一部ヲ届
ケテ戴イタノデ、一ツ重要ナ點ヲ伺ヒタイ、
ソレハ當初政府ハ斯ウ云フヤウナ會社組織
ニシナイデ、移住組合ト云フ組合ヲ作ラ
レタ理由ハドウデアリマスカ、移住組合ニ
依ッテ移民ノ進展ヲ圖ル、即チ會社組織ニシ
ナイデ移住組合ノ方ヲ適當トサレタ其根據
ト理由ヲ一ツ伺ヒタイ

性質ヲ持ッテ居ルカラ宜イガ、會員トカ其他
ハ從來ノ關係デナッテシマフト云フコトハ、
今言ッヤウナ意味デ、政府カラ七百二十五
萬圓ヲ無利子デ借りテ居ルノト同ジデア
ル、サウシテ自分達ハ二百七十五萬圓ヲ今
後出資スル、サウ云フ局部而モ限定サレタ
範圍デ利用サレテ行ク、斯ウ云フヤウニ言
ハレテモ辯解ノ辭ハナイト思フ、尤モ此會
社ハサウ云フ意味デハナク、日本ノ海外發
展ノ爲ニ公共的ニヤラレル事業デアリス、

○入江政府委員 只今本會社ノ役員ノコト
ニ付テノ御話ガアリマシタガ、全然同感デ
アリマス、斯ル會社ハ公益的ノ性質ヲ持ッ
テ居ルモノデアリマスルシ、殊ニ海外ニ於
ケル日本ノ新シイ仕事トシテ見ルベキモノ
デアリマスカラ、斯ル會社ガ若シ失敗ニ終
ルガ如キコトガアリマスレバ、將來日本ノ
海外發展ニモ非常ナ惡イ影響ヲ及シマス、
ソレニ付キマシテハ重役其人ニ宜シキヲ得
ルト云フコトハ最モ必要ナコトデアリマス
カラ、只今御意見ノ所ハ私共全然同感デア
リマス、政府ニ於キマシテモ十分注意ヲシ
マシテ、從來假ニ弊害ガアッタトシマスレ
バ、サウ云フ弊害ノナイヤウニ十分注意ヲ
致シマス、ソレカラ株式募集ノコトデアリ
マスルガ、是ハ昨日來政府委員ノ方デ關係
者ト云フヤウナコトヲ申シタノデアリマス
ガ、是ハ仕事ガ「ブラジル」國デ遠隔ナ地デ
ゴザイマスカラ、假ニ之ヲ募集シマシテモ、

○川崎委員 只今拓務次官ノ御説明デ其點
能ク了承致シマシタ、實際ニ於テ、却テ私
ハ當時事實ニ副ハナイコトヲ申上ゲタ嫌ガ
アルカモ知レマセヌ、其點ニ付テハ私モ能
ク自ラ承知致シテ居リマス、併シ形式トシ
テハ吾々ハヤハリサウ云フ態度デ御臨ミ願
ハナクチャ如何ニモ國民ノ一部カラ言ヘ
バ、關係者ダケデ然ルベキコトヲヤルト云
フヤウニ思ハスト云フコトハ如何カト思フ
ノデアリマスカラ、大抵ナ支障ヲ廢シテ、
ヤハリ是ハ公募ノ形式ヲ御採リニナルコト
ヲ私ハ希望スルノデアリマス、サウ云フ御
取計ヒニナルト云フコトノ御言明ニ對シ
テ、私ハソレヲ信賴致シタイト思フノデア
リマス、大體私ハ此程度デ質問ヲ打切りタ
イト思フノデアリマスガ、先程カラ委員長

○入江政府委員 是ハ實ハ内務省ノ時代ニ
出來タノデアリマシテ、私トシテハ詳シイ
コトハ存ジマセヌケレドモ、多分其當時海
外移住ト云フコトニ付キマシテハ、會社組
織ヲ直チニ作ルト云フヤウナコトニハ、中
中其當時ノ事情ガ其處マデ運ンデ居ナイノ
デ、政府ガ兎ニ角金ヲ出シテ、サウシテ政
府ノ力ニ依ッテ金ヲ融通シテヤラウ、斯ウ云
フコトカラ出來タノデヤナイカト思ヒマス
ガ、私ハ實ハ以前ノコトデアリマスカラ、
詳シイ事情ハ承知シテ居リマセヌ
○牧山委員 ドウモ御説明ニ満足シナイノ

デアリマスガ、移住組合が出来た當初ノ理由ガ分ラナイデ、ソレニ變改ヲ加ヘルト云フコトハ私ハ合點ガ行カナイ、是ハドウ云フ譯デ組合組織ヲ採ツタカト云フコトガ明ニナラナケレバ仕様ガナイ、私ノ方ノ知ル所ニ依レバ、當時政府ガ表面ニ立ッテハイカヌ、組合組織デアルコトガ相手國、即チ「ブラジル」ノ政府及ビ國民ノ感情ヲ刺戟シナイデ宜イ、此意味デ出来タ、ソレガ主ナ理由ダト私ハ了解シテ居リマスガ、此點ハドウシテモ之ニ改變ヲ試ミル場合ニ於テハ、當然研究サレナケレバナラヌ重要ナル點デアルト思フノデアリマスガ、外ノ事ノヤウナ御話ヲ承ルコトハ非常ニ心外ニ思フノデアリマス、此點如何デスカ、極メナ重要ナ點デアルト思ヒマス、詰リ國策上政府ガ表面ニ立ツコトハ宜シクナイ、ソコデ「カムフラージュ」シテ此形デ行クコトガ、移民ノ效果ヲ舉ゲル意味ニ於テ宜シイ、時ノ政府ハ斯ウ云フヤウナ方針カラ出發シタモノデアルト思フノデアリマスガ、誤リガアレバ一ツ御釋明ヲ願ヒタイ

○入江政府委員 實ハ今ノ御尋ニ付キマシテハ、私自身トシマシテハ其當時其局ニ居ラナカッタモノデスカラ、今ノヤウナ御答辯ヲ申上ゲタヤウナ次第デアリマスルガ、私

ガ聞イテ居リマス所ハ、今申シタヤウニ詰リ「ブラジル」移住民ニ對スル國家的ニ他ノ方法ガ、其當時ハ餘リ發見サレナカッタト云フヤウナコトデ、取敢ヘズ政府ガ金ヲ出シテ、サウシテ政府ノ力ニ依ッテ金ヲ融通シテヤラウ、斯ウ云フコトデ海外移住組合ト云フモノガ各府縣ニ出来、ソレノ上ニ聯合會ト云フモノガ出来テ、此事業ヲヤッテ居ルト云フヤウナコトニ聞イテ居リマス

○牧山委員 是ハ「ブラジル」ニ對スル移民政策上ノ方針ノ變更ト云フ問題ニ歸著スルノデアリマス、此案ハ昨日ノ此會ニ於テ其經過ヲ伺ッタノデアリマスルガ、極メテ慎重ニ研究シタ、一夜作りノ案デハナイト云フヤウナ御説明モゾリマシタガ、今伺フト云フト、時ノ政府ガ「ブラジル」移民ノ目的ヲ達スル上ニ於テハ組合ノ制度ヲ採ルノガ適當ナリ、此意味ニ於テ組合ヲ實行シタモノダト思フノデアリマスガ、併シ此點ノ研究スラモ付イテ居ラヌト云フコトデブッテハ、ドウモ私ハ此審議ヲ進メテ行クコトが出来ヌト思ヒマス、ソレハ私ガ此質問ヲ發スル所以ノモノハ、入江君ノ御常識ヲ以テ御察シニナッテモ、何ガ爲ニ總理大臣及ビ佐藤外務大臣ノ御出席ヲ願ツタカト云フコトハ直グ御察シガ出来ルデアラウト思フ、又佐藤

外務大臣ガ此席ニ於テ言明セラレタルコトト對照シテ考ヘタ場合ニ於テ、私ハ非常ナル矛盾著ク感ゼザルヲ得ナイ、アナタ御自身ノ御説明ニ於テモ首尾一貫セザル所ガアルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○入江政府委員 移民政策ニ付キマシテ、昨日總理大臣、外務大臣ニ付テ御尋ニナリマシタコトハ十分承知シテ居リマス、私共モ此移民事業ト云フモノハ非常ニ重大ナコトデアルコトハ十分承知シテ居リマスノデ、今日ノ所謂海外移民ノ方法ニ付キマシテハ十分研究シマシタ結果、今日海外移住組合聯合會ノ事業ト云フモノヲ此儘デ進メテ行クト云フコトヨリモ、之ヲ今度ノヤウナ組織ニ變ヘテ進ンダ方ガ將來ノ移民政策ノ上ニ非常ニ貢獻スル所ガ多クナイカ、斯ウ云フコトカラ今日ノヤウナ改正案ヲ出シタヤウナ次第デアリマス

○牧山委員 アナタノ昨日ノ御記憶ヲ喚起シタイト思フノデスカ、私ハ斯ウ云フ質問ヲシタ、此會社設立ハ當然立法事項デナケレバナラヌ、此會社ノ設立ニ付テハ、臺灣殖産株式會社ト同ジヤウニ法律ヲ以テ制定サレル性質ノモノ、ヤウニ思フ、ソレハ政府ガ四分ノ三カラノ出資ヲスルノデア

カラ、是ハ當然ノコトダト思フガ、之ヲヤラナイ理由如何、斯ウ云フ間ヒニ對シテ入江政府委員ハ、サウ云フ形ヲ取ルト云フト、即チ政府ガ四分ノ三ノ株ヲ持ッテ居ルト云フヤウナコトガ分ル、政府ガ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルト云フコトガ相手國ニ分ルト云フト、相手國ノ感情ヲ刺戟シテ種々不便ナ點ガアルト云フ御答辯デアッタコトハ、私誤リナイコトダト思ヒマスガ、其點ハドウデアリマスカ、是ハ昨日ノコトダカラ間違ヒナイト思ヒマス、ソコデ私ハ外務大臣ニ來テ戴イタノデアルガ、普通會社ノ形ヲ取ラレル、併シ政府ガ四分ノ三ノ株ヲ持ッテ居ルト云フコトハ儼然タル事實デア

ル、日本ニハ議會政治ガ開カレテ居ル、委員長ハ何ガ爲ニ、國家ガ七百五十萬圓ノ金ノ支出ノ肩替リヲ容認スルカト云フヤウナコトニ付テハ、委員長ガ當然本會議ニ於テ説明サルベキコトデアル、ソレハ斯ウ云フヤウナ「ブラジル」ニ於ケル所ノ移民組合ノ變態デアル會社ヲ作ル、ソレニ對スル出資デアルト云フコトハ、是ハ當然言ハナケレバナラヌ、然ラバ是ハ速記録ノ上ニ於テモ天下周知ノ事實ト相成リマス、是ニ付キ私ハ佐藤外務大臣ニ尋ネタノデアルガ、アナタハサウ云フ説明ヲサレタガ、若シ「ブラ

ジル」ノ大使ガ外務大臣ヲ訪問シテ、今度出来タ移民會社ト云フモノハ四分ノ三ノ株式ヲ政府ガ持つ、七百五十萬圓ト云フモノハ日本政府ガ出資シタ所ノ移民會社デアルト云フ噂ヲ同フガ事實如何、ト云フコトヲ外務大臣ノ所ヘ聽キニ來タ場合ニ於テハ、アナタハ國家ノ機密トシテ其内容ヲ説明シナイデ済ミマスカ、斯ウ言ウタ、是ハ濟マサレナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、サウスルト私が第一ニ移民組合ヲ最初ニ作ッタト云フコトハドウ云フ意味デアるかト云フコトヲ御尋シテ居ルノハコ、ニ關係ヲ持つノデアル、即チ丁度今ノアナタノ思想ト同ジヤウニ、ヤハリ對外的ニ影響ヲ及ボスカラ「カムフラージュ」シテ行クコトガ移民ノ實績ヲ上ゲル所以ダ、斯ウ云フコトニ突張ッテ來テ居ル、此問題ガ解消シテ居レバ別デス、解消シテ居ナイ、

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

アナタモヤハリ現ニ政府ガ表面ニ立ッテ活動スルコトヲ移民國ニ對シテ宜クナイト云フ感ジデ以テ立法事項ヲ執ラナカッタト斯ウ説明シテ居ラレル、サウスルナラバ全ク矛盾著ク自ラ此處デ説明シテ居ラレルノデハナイカ、即チ政府ノ所期スル所ノ「カムフラージュ」デ行クト云フコトガ自ラ表

面ニ出ルト云フコトニナル、其事ガ國家ノ機密トシテ、何カ軍機ノ機密ノ如ク何處マデモ保持セラレルコトデアラバ是ハ宜イデスヨ、併シ繰返シテ申シマス、日本ニハ議會政治ヲ布イテ、此豫算ト云フモノモ是ハ謂ハハ國民ニ對スル公開デアル、此會議モ公開デアル、サウスルト此アナタノ、相手國ヲ刺戟シナイト云フコトニナレバ今ノ移民組合デヤッデ行ク方が一番宜イ、詰リ時ノ政府ガ移民組合ニ依ッテ移民ヲ實行シテ行ク、此事ガ終始一貫シタコトデアル、併シ此場合ニ於テ、私ハ昨日外務大臣ヲ此席ニ呼ンデ來タノハ、イヤ當時ノ事情ハサウデアッタケレドモ、兩國ノ間ニ非常ニ親善ノ關係ガ出來テ、今日ハ政府ガ表面ニ立ッテ、兩國ノ間デ、政府援助ノ下ニドシ、移民ヲ送ルコトヲ相手國ガ歡迎スル、ソレヲ喜ンデ居ル、兩國ノ親善ノ關係ハソコマデ行デ居ル、斯ウ云フコトデアラバ是ハ問題ハナイノデアルガ、サウデナイコトハ、アナタガ詰リ立法事項ヲ、其途ヲ取ラズシテ、隠レタ形式デ行カウト云フコトニ付テハアナタニ大ナル矛盾著クアルと思フ、尙又私ハ是ハドウシタッテソレヨリ外ニハナイと思フ、當時ノ事情ガ解消シタコトデアラバ別デアリマスケレドモ、解消シ

テ居ナイ、解消シテ居ナイカラ昨日モアナタハ此處デ説明サレタ、外務大臣ヲ呼ンデモヤハリサウデアアル、一面ニ、移民ノ場所ハ違ヒマスケレドモ、上塚君ノアレダケ苦心慘澹ヲシテ確定不動ノ權利ナリトシテ居ッタ所ノ百萬町歩ノ問題ト云フモノヲ今日デハ根柢カラ覆サレテ非常ニ迷惑シテ居ル、私ハ之ニ對シテ政府ノ責任ヲ問ハナケレバナラヌと思フ、是ハ別ノコトデアアルガ、入江君モ御承知デアラウト思フガ、此百萬町歩ノ「コンセッション」ヲ確定不動ノモノデアアル、之ヲ基礎ニシテ吾々ニ協賛ヲ求メラレタ所ノ時ノ主管大臣ハ誰デアリマスルカ、是モ明ニシテ置キタイと思ヒマス

○入江政府委員

私ハ先日來カラ此會社ヲ造ルニ付キマシテ政府ハ株ヲ持つコトヲ隱サウト云フヤウナコトハ申シマセヌ、是ハ政府ハ今日此出資ヲスルト云フコトハ法律ニ明カデアリマスルカラ、是ハ隱スコトハ出來マセヌ、併シ斯ル事實ト云フモノハ餘リニ大キク傳ヘラレテ、サウシテ却テ相手國ノ誤解ヲ招クヤウナコトハ面白クナイシ、又往々ニシテ斯ウ云フコトヲワザト大キク書イテ、サウシテ刺戟スルヤウナコトガ往々國際間ニ行ハレルモノデスカラ、サウ云フ點ニハ十分注意ヲシナケレバナラヌ

イト云フコトヲ申シマシタ譯デアリマス、ソコデハ「ブラジル」大使ガ若シ此點ニ付テ御尋ガアレバ是ハ御答ニナルノガ當然デアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ特ニ政府出資ト云フモノヲ隱ストカ何トカ云フコトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ此會社ハ所謂國內會社デアリマスシ、此法律デ作ル以上ハ會社ハ儼然トシテ存シテ居ル譯デアリマスカラ、若シサウ云フ風ニ御聽取リ下サッタスレバ、其點ニ於テ私ノ考ハサウ云フ意味デヤナカッタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○牧山委員

昨日ト今日ト打ッテ變ッテ御答辯デ甚ダ私諒解ニ苦シムモノデアリマス、是ハ私バカリデナク川崎君モ御質問ダッタと思ヒマス、政府ガ四分ノ三カラノ株ヲ持つ場合ニ於テハドウシテモ是ハ法律ニ依ル會社デナケレバナラヌ、臺灣殖産株式會社モ法律ニ依ッテ出來テ居ル、其他制令、委任立法ニ基ク所ノ會社ガアル、サウスルト是ハドウシテモサウナラナケレバナラヌデヤナイカ、恐ラク川崎君ガ今法制局長官ノ出席ヲ求メラレテ居ルノモ此點ニ對スル疑念ヲ持タレテ居ルカラデアラウ、此點ニ對シテアナタハ明ニ是ハ法律ニ依ル會社ニセ

ザル所以ノモノハ相手國ノ感情ヲ害スルカラダ、斯ウ云フコトデアル、併シ法律ニ依ルト依ラザルトニ拘ラズ四分ノ三ノ出資ヲ日本政府ガヤッテ居ル儼然タル事實ハ、隠スコトハ出来ナカラウ、若シサウ云フコトノ心配ガアルナラバ、即チ當時移民組合法ヲ制定シタル所ノ精神ト云フモノハ今日解消サレテ居ラヌノデアルカラ今ノガ一番宜イデハナイカ、若シ金ノ足ラザル所ガアレバ改メテ吾々ニ協賛ヲ求メルガ宜イ、又他ノ東洋拓殖會社等ヲ活動セシメルト云フヤウナ何等カノ方法ヲ以テヤッテ行ケル、當時ヤッタ時時代ガ變化シテ居ルナラバ、其時ハ心配シナガラ相手國ノ顔色ヲ窺ッテヤッテ居ツノカ、今日ハ兩國ノ關係ハサウ云フ心配ハ全然ナイ、覆面ヲ取ッテ赤裸々ニ一ツヤッテ行クト云フ所ノ諒解ガ兩國ノ間ニ成立シタトカ何トカ云フナラバ、私ハソレハ全ク相互ノ事情ノ變化ダカラ、之ヲ肯定スル、然シサウデナイノダカラアナタノ説明自ラガ斯ウ云フコトヲヤルコトガイカヌト云フコトヲ否定スル自問自答ヲヤッテ居ラレルト同ジヤウニ考ヘルガドウデスカ、サウシテドウモ組合法ヲ作ッテ何故組合ニ依ラナケレバナラナカタカト云フコトハ、其時ハ自分ハ全クソレニ與ッテ居ラヌカラ知

ラヌトハ何ント云フコトデアルカ、是ハ此會社ヲ作ラウト云フ前身デスカラ、總テ物ヲ變換シヨウト云フ場合ニ於テハ當時ノ事情ハ如何ナルコトニ依ッテ斯ウ云フコトヲヤツタカ、斯ウ云フ政策ヲ執ツタカト云フコトハ當然研究サレナケレバナリマセヌ、是ハ私ハ無理カラヌ註文ダト思ヒマスガドウデスカ、何レノ場合ニ於テモ物ヲ途中カラ變更シテ行カウト云フ場合ニ於テハ、之ヲ設定シタ當時ノ事情ヲ考ヘナケレバナラヌ、其事情ノ變化ノアツタコトハ之ヲ認メルケレドモ、昨日來ノアナタノ御説明ニハ依然トシテ其心配ヲ持ッテ居ラレル、殊ニ同ジ國內ニ於ケル上塚君ノ會社ハドウデスカ、革命ニ依ッテ益對立感情ト云フモノハ惡化シテ居ル、其一ツノ犠牲ニナラレタノガ上塚君ノ「アマゾン」産業株式會社デアル、是モ私ハ友人ノ上塚君ガヤッテ居ラレルカラベテンノ會社デモ何デモナイカラ事情成行キハ之ヲ容認スルヤウナモノダケレドモ、政府ガ百萬町歩ノ「コンセシヨン」ナルモノハ確定不動ノモノダカラ之ヲ基礎ニシテ會社ヲ作り、ソレニ補助ヲ與ヘルコトガ適當デアルト云フコトガ、即チ其「コンセシヨン」ヲ完全ナモノトシテ議會ニ責任ヲ以テ言明サレタ結果デアル、是ハ當ノ

外務大臣モ非常ニ責任ガアル、マルデ嘘ハ百ヲ云フテサウ云フ大キナ會社ヲ作ッテ居ルガ、ソコデヤッテ居ラレル上塚君非常ニ迷惑ヲ感ゼラレル、昨日上塚君モ言葉ハ少ナカッタケレドモ、外務當局ニ對シテ大ナル不滿ヲ有ッテ居ルヤニ見エル、全ク議會ヲ欺イタ結果ニナッテ居ル、アノ時ノ大臣ハ誰デアリマスカ、「アマゾン」ノ産業株式會社ノ出來タ時ノ拓務省關係ノ主管大臣ハ誰デアリマスカ、是ハ出テ來テ一ツ説明ヲ聽カナケレバナラヌ、是ハ同ジ國內ニ於ケル移民問題トハ異ッテ實ニ重大ナコトデアル、ソレカラ今頂戴シタケレドモ、此七百五十萬圓ト云フノハ如何ナルモノデアルカ分ラナイ、委員長モ分ラナイ、私モ分ラナイ、風呂敷ニ包ンダ儘デ内容ハ分ラナイ、此ノ財産ハ會社ニ持ッテ行クト云フコトデアルガ、ソナタハ滿鐵ニモ居ラレ、鹽水港製糖會社等ニモ居ラレタノデアルガ、一體ヨソノ會社ヲ繼承又ハ合併スル場合、或ハ新シイ會社ヲ作ル場合ニ其モノガ如何ナル資産狀態カラ質サナイデ、會社ガ出來ルモノデアルカ、善イコトハ贊成シマス、殊ニ移植民ノ發展ハ私多年ノ主張デアルガ、此移住組合ノ關係者ハ何人デアルカモ知ラナイ、平生飢三郎君ガ理事長ニナッテ居ラレルト云フコト

ヲ先刻書類デ初メテ知ツタガ、文部大臣ニナツタ時モヤッテ居ラレタノカ、守屋榮夫君ガ常任理事カ何カシテ居ルコトモ始メテ知ツタ、其外ニ色々ノ顔ガアルガ、私之ニハ何等ノ利害關係モ持タナイ、誰ニ頼マレテ議論ヲシテ居ル譯デモナイガ、唯私ハ國家ノ爲ニ此「ブラジル」移民ノ經過カラ考ヘテ見テ、入江サンノ説明サレル所ハ自家撞著ダト思フシ、外務大臣ノ説明セラレル所ガ眞ナリトスレバ、ヤハリ移民組合デヤッテ行クノガ宜イト思フ、現ニ今ヤッテ居ルノダカラ、引續キ今ノ通りヤッテ見テ、又兩國ノ間ノ外交ノ交渉ニ依ッテ此「アマゾン」産業株式會社ノ問題モ圓滿ニ解決シ、進ンデ是ガ會社ヲ作ッテ今マデノ變態移民組合ヲ之ニ引繼イデ、モット其會社ヲ擴大強化スルト云フコトニナリ得ル場合ニ於テ、私ハドン贊成スルノデアルガ、今ノ説明デハアナタハユックリ胸ニ手ヲ當テ、考ヘレバ自家撞著ノ説明ヲシテ居ラレルコトガ分ルダラウト思フガ、其場々々ノ説明ヲサレルコト迷惑千萬デアル、私モ忙シイ中ヲ來テ質問シテ居ルガ、個人的ニハアナタニハ二十年來ノ友人トシテ好感ヲ持ッテ居ルシ、利害衝突ヲシタコトモ何モナイノダガ、吾々ガ知ラナイ場合ハ已ムヲ得ナイケレドモ、知ッ

タ以上結構デゴザイマスと云フコトハドウ
モ國民代表ノ重責ノアル吾々トシテ、殊ニ
是ハ外交上重大ナ機微ヲ包藏シテ居ル問題
デアリマスカラ出来ナイ、昨日モ忙シイ中
ヲ外務大臣ヲ呼シテ次第デ、外務大臣ハ兩
國ノ關係ハ全ク移民組合ヲ作ツ時ト事情
ガ違ッテ居ル、日伯ノ關係ト云フモノハ國際
情勢ガ全然違ッテ好クナッデ居ル、表面ニ政
府ガ乗出シテモ差支ナイト云フ證言デモ
得レバ喜ンデ之ニ賛成スルケレドモ、入
江君御自身ノ御説明デモ、ドウモ政府
自ラ表面ニ出テハイカスト云フ、表面ニ
出シテナラスモノヲアナタ自ラ出シテ居
ラレルト云フコトハ非常ナ自家撞著デハ
ナイカ、斯ウ云フノデス、分リマシタカ
○入江政府委員 只今牧山サンカラ移民事
業ニ付テ非常ニ關心ヲ以テ此事業ニ付テハ
出来ルダケノ自分共ハ骨折ヲシタイ、斯ウ
云フコトハ私共ニ取ッテ洵ニ有難イコトデ
アリマシテ、ドウカ一ツ移民事業ノ爲ニ十
分御骨折ヲ願ヒタイと思ッテ居リマス、先程
私ガ此法案ヲ出スコトニ付テ反對ヲシテ居
ルヤウナコトヲ一寸私サウ云フ風ニ聽キマ
シタガ、是ハ御承知ノ通り法律案トシテ出
テ居リマスカラ、是ガ法律デアルコトハモ
ウ私ハ隠スコトモ何ニモ出来ナイコトデア

リマスカラ、其點ハ何カ御考ノ何處カニ喰
違ヒガアツタンデヤナイカと思ッテ居リマス
ガ、此法案自體ガ既ニ會社法ト云フ標題デ
ハアリマセヌケレドモ、立派ニ會社ヲ作ル
法律案デアリマスカラ、此法律案ニ對シテ
ハ天下何處ニデモ分ッテ居ルコトデアリマ
スカラ、之ヲ隠スコトハ出来ヌ、唯此法案
ト云フモノニ付キマシテ從來ノ會社法ミタ
ヤウニ長々シク書イテナイダケデ、單ニ立
法事項ダケヲ規定シテ居リマシテ、其外ノ
省イテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體サ
ウ云フ風ニ一ツ御承知ヲ願ヒマス
○牧山委員 此會社ノ組織如何ハ別問題ト
シテモ、政府ガ大ビラニ表面ニ立ツト云フ
コトハ日伯間ノ現在ニ於テハ宜シクナイト
云フ御説明デバツタコトハ間違アリマセヌ
カ
○入江政府委員 何デスカ
○牧山委員 「ブラジル」移民ヲ取扱フ上ニ
於テ政府ガ表面ニ乗出スコト云フコトハ其時
期デナイ、適當デナイト云フ考ヲ持ッテ居
ル、モウ一ツ言葉ヲ進メテ言フト、法律ニ依
リ移民會社法ヲヤルト云フコトハ相手國ニ
分リ其感情ヲ刺戟スル、斯ウ言ハレタコト
ハ私間違ナイダラウト思フ、ソレハ速記録

ニ明ナコトデアアル、ソレダカラ確メテ居ル
ノデアリマス、ソコデアナタモ昨日其處ニ
居ラレテ聽イテ居ッタ「アマゾン」關係ヲ佐
藤外務大臣ニ問フ所以ノモノハ、ソコニ重
點ヲ置イタコトハ能ク知ッテ居ラレルと思
フ、ソコデ佐藤外務大臣ガ當年ノ情勢ハサ
ウデバツタケレドモ、今日ノ情勢ハドウヤッ
テモ構ハヌト云フコトデアアルナラバ、入江
サン、アナタノ御心配ハモウ要ラナイデヤ
ナイカ、外務大臣モ斯ウ言明シテ居ルノデ
ヤナイカ、アナタハ取越苦勞ダト私ノ方カ
ラ言フノデス、外ノ事情通ノ人ニモ聽イテ
見タガ、皆私ト同感ノ意ヲ表シテ居リマ
ス、君ノ言フ通りダ、ヤハリ組合デ此二、三
年ヤッテ、金ガ足りナケレバアナタ方別ノ方
法デ援助スレバ宜シイ、組合ノ方カラ金ガ
返ッテ來ル、ソレガ大藏省ノ金庫ニ入ルト、
モウ一遍取り出スノガ大變ダカラ一ツ斯ウ
云フモノヲ作ラウ、役人ノ古手ヲ使フ使ハ
ヌト云フコトハ自然ノ副産物ノコトデアリ
マシテ、サウ云フコトモ考ヘラレテ居ルカ
モ知ラヌガ、返ッテ來ル金ヲ大藏省ニ返スノ
ガ嫌ダカラ自分ノ方ニ斯ウ云フ會社ヲ作ッ
テ置カウト云フノガ眞情デアアル、此組合法
制定ノ當時カラノ精神ト云フモノハ、アナ
タハドウ云フ事情ダカ分ラナイト云フヤウ

ナコトヲ言ッテ居ル、此一言ニ照シテモ十
分ナル研究ヲ盡サレテ居ラナカッタコトハ
明白デアアル、是ナドモ拓務大臣ニ此處ニ來
テ貰ッテ十分聽カナケレバナラスノデアリ
マスガ、人事以外ノコトハ屬僚ニ委シテ居
ル、官判ヲ押シテ居ラウト思フカラ實
際ヨク分ルマイ、斯シナ質問ヲサレタラ常
識ノアル者ナラバ一ツ考ヘテ見マセウト言
フニ違ヒナイ、併シ繁劇ナ大藏大臣兼攝ノ
拓相ヲ呼出シテ聽イテモ氣ノ毒ダト思フ
シ、アナタガ事實上大臣ノ職務ヲ執ッテ居
ラレルノデアラウカラ、又御懇意ナ仲デア
ルカラ、思フ存分聽イタ方ガ宜イト思ッテ
聽イテ居ルノデアリマスガ、アナタノ昨
日、今日ノ御話ト云フモノハ自問自答、自
家撞著デハナイカト私ハ思フノデス、ドウ
デスカ、表面ニ政府ガ現レルト云フコトハ
イカヌ、アナタハ其處ニ重點ヲ置イテ昨日
説明ヲサレタト思フ、表面ニ立ツ此案ト云
フモノハ直グ相手國ニ分ル、形ハ法律ニ依
ル特殊會社デハナイガ、政府ガ三分ノ一ノ
金ヲ出資シテヤッテ居ル、斯ウ云フコトニナ
ルト、當初苦心ヲシテ組合組織デズットヤ
テ行ッテ居ッタ、ソレデ十分ナ成績ハ擧ゲテ
居ラヌデセウケレドモ、益、是ガ惡クナッ
テ、又根柢カラ非常ナル迫害ヲ受ケルヤウ

ナコトニナルト、折角向フヘ行ッテ居ル者モ、亦苦勞ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトニナリハシナイカト心配スル、私ハ昨年歐羅巴カラ、亞米利加ヲ廻ッテ移民ノ實情ヲ見、日本ノ政府ガ本當ニ思ヒ遣リガナク、其場限りニ色々ナコトヲヤッテ困ルト云フヤウナ幾多ノ事例ヲ知ッテ居リマス、ソレダケニ心配ナノデアリマス、何カ御意見ガアレバ承リタイ

○入江政府委員 移民ノコトニ付テ色々御心配ヲ戴イテ、洵ニ有難イト思ッテ居リマス、實ハ外國ニ對シテ私ガ出來ルダケ外國人ノ神經ヲ刺戟セヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ、其事ヲ大分強ク御話ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、勿論國外ニ於ケル所謂移民事業ト云フモノニ付キマシテハ、今日ノ國際關係ハ御承知ノ通り中々複雑デアリマスノデ、出來ルダケ其局ニ當ル者ガ細心ノ注意ヲ以テ、將來豫想シ得ルコトハ豫メ除去シテ置ク必要ガアルダラウ、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ、此「ブラジル」ニ於ケル移民會社ヲ内國ニ於テ作ルトシテモ、此會社ヲ作ッタコトヲ大キク書立テラレテ、何等カ日本ガ新ニ外國ノ領土デモ取ルヤウナ會社ヲ作ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ誤リ傳ヘラレルカラ、詰リ爲ニセントスル者ニ

サウ云フ風ニ大キク言ヒ立テラレルコトハ日本ノ爲ニ不利益ダ、斯ウ考ヘタモノデアリマスカラ、出來ルダケ斯ウ云フ仕事ト云フモノハ——元來ハ聯合會ノ仕事ヲ其儘唯肩替リシタヤウナモノデアリマスカラ、實際ノ仕事ト云フモノハ「ブラジル」國ニ於テハ同ジコトデアリマスカラ、出來ルダケ斯ウ云フコトヲ外國ニ大キク取扱ハレナイヤウニ注意スベキモノダ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲタ次第デアリマス、私ノ精神ハ十分御諒解下サッテ、アナタノ方デ、御話ニナッテ居ルト思ッテ居リマスガ、其點ニ付テハドウカ私ノ申上ゲマス眞意ヲ十分御諒解願ヒタイト思フノデアリマス

○牧山委員 實際ハアナタノ御精神ヲ汲ンデアナタノ辯護ヲシテ居ル積リナンドス、「ブラジル」ノ對日感情ハドウデスカ、是ハ上塚サンガ説明サレタ通り、又外務當局ガ説明サレタ通り非常ニ惡クナッテ居ル、上塚サンニ對シテハ「コンセンション」ノ問題ハ國際正義ノ上カラモ許スベカラザルコトダ、ソコデ「サンパウロ」ノ方面ニ於ケル所ノ權利ハ確定不動ノモノダト思フノデアリマスガ、是等ヲドン／＼ヤッテ行ク上ニ於テ、若シ之ニ對シテ感情ガ激化シテ行ッタナラ——上塚君ノ土地問題ノ如キモ是ハ昨日入江

君御聽キノ通り根モナイコトヲ言ヒ立テ、居ル、日本ハ是デ國防上ノ基礎ヲ造ルト云フヤウナ根モナイコトヲ言ヒ立テ、サウシテ之ヲ根柢カラ壊シテシマフト云フヤウナ「ブラジル」ノ事情ニナッテ居ル、對日感情ハ革命後ニ於テ益々惡クナッテ居ル、此際ニ此會社ノ設立ヲ遂行スルコトハ益々ソレニ油ヲ掛ケルヤウナコトニナルデハナイカ、「カムフラージュ」ヲシテ移民組合ヲ作ッテヤッテ行クト云フコトハ實ニ私ハ名案ダト思フ、ソレヲ會社ヲ作ッテヤルト云フコトハ今マデヨリ移民ノ成績ガ好クナルト云フコトハ一ツモナイ、ソナコトハ豫期サレナイ、是ハ財産ノ始末トカ、組織ヲ變ヘルト云フヤウナコトデ、之ニ依ッテ移民ノ效果ヲ幾許カ舉ゲルト云フコトハ何ニモ之ニ對シテハ私ハ期待シテ居ラナイ、「ブラジル」ノ狀況カラ察シテ全クアナタノ心配シ、外務當局ガ心配シ、又現實ノ問題トシテ百萬町歩ノ「コンセンション」ノ問題ガア、云フ風ニナッテ居ル際ニ、政府ガ三分ノ二ノ出資ヲヤル會社設立ハ益々相手國ノ感情ヲ激化スル、先ヅ此問題カラ解決シナケレバ國トシテモ困ルシ、「アマゾン」産業會社モ困ル、向フヘ移民ヲ連レテ行ッテ居ル上塚君ナドモ非常ニ困ル、サウ云フコト、相絡ンデ今

度政府ガ表面ニ立ッテ來レバ、必ズ言掛リヲ言ッテ來ル、「アマゾン」産業會社ニ付テモ、彼處ヘ日本ガ海軍ノ根據地ヲ造ルトカ、飛行場ヲ造ルトカ、無線電信ヲ立テルト云フヤウナコトハ全然考ヘテ居ラナイケレドモ、ソナナ無イコトマデモ柄ヲスグテ言掛リヲ付ケル、此確定不動ナリト吾々ガ信ジ、國家モ「アマゾン」産業株式會社ニ對シテハ相當ノ犧牲ヲ拂ッテヤッテ居ル、又ソレニ火ヲ點ケルヤウナコトハ、ドウモ是ハ現在ノ日伯ノ關係ニ於テ慎シムベキコトダト思フ、其憂ガ全然無クナッタト云フナラ別デアルガ、嚴然タル事實ハ今モ申述べタ通り、外務當局モ亦之ヲ心配シテ居ル、ソレデ百萬町歩ノ「コンセンション」問題ノ解決ノ確信アリヤ否ヤト云フコトニ付テハ、佐藤外務大臣モ非常ニ心配ヲシテ、大體見込ガアルト云フコトスラモ言ヒ得ザル狀態ニアルノニ、又斯ウ云フコトヲサレルト益々惡クナッテ、今行ッテ居ル移民組合モ亦迫害ヲ受ケヌトモ限ラスト思フ、私ハ其點ヲ心配スル、斯ウ云フモノハ一年二年延バシテモ、先以テ百萬町歩ノ「アマゾン」産業株式會社ノ問題ヲ解決シタ方ガ私ハ宜イト思フ、是ハ確固不拔ノ計畫ガチヤント立ッテ居ル、ソレニ又次ノ矢ヲ放チ、益々不利ナ材料ヲ出シテ、

事件ノ解決ヲ困難ナラシメルト云フコトハ、移民政策ノ根本カラ考ヘマシテモ、非常ニ不利益デハナイカト思フ、全ク私ハ無統制ノ下ニ出サレタモノデアルト思フ、是ハ内政ノ問題デ北海道ニ何ヲ造ルトカ、臺灣ニドウトカ、日本ノ勢力圏内ノ滿洲ニドウストカ云フコトナラ少シ位間違ッテモ私ハ容認スル、併シ今ノ日伯ノ微妙ナル「デリケート」ナ關係ニ於テドウシテモ「アマゾン」ノ問題ハ先ニ解決シナケレバナラスト思フ、ソレデナケレバ責任ガ果セナイ、サウ云フヤウナ際ニ斯ウ云フ不利益ナ材料ヲ出セバ、向フハ又日本ノ政府ガヤッテ來タ、今度ハ七百五十萬圓ノ出資ニ依ッテ組織的ニヤルノダ、ソコデ「アマゾン」ノ「コンセッション」ノ問題ト相絡ンデ、キツト州議會ニ於テモ中央議會ニ於テモ必ズ之ヲ材料トシテ攻撃スルニ違ヒナイ、サウスルト百萬町歩ノ「コンセッション」問題ト云フモノ、解決ヲ益、困難ナラシメルモノト思フ、此會社ヲ作ラナイカラト言ッテモ、組合デヤッテ居ルノデアアルカラ移民ノ遂行ニハ困ラナイ、而モ會期二三日ニ迫ッテ斯ノ如キ外交上重大ナ心配ヲ持ッテ居ル案ヲ無理ニ強ヒラレルト云フコトハ國家ノ爲ニモ慎シムベキデアル、アナタハ昨日今日ノ質問應答ヲ聞カ

レタナラ、是ハ政府ノ方カラ見合セルベキデアル、先ヅ百萬町歩ノ「コンセッション」ノ問題カラ先ニ解決シテ徐ロニ考フベキデアル、國際情勢ニ於テ認識ガ十分デナカッタカラ一ツ考ヘテ見ヨウト云フノガ當然デアル、アナタガ出シタカラト云ッテ自分ノ顔ニ關スルトカ何ト云フコトハ今日考ヘルベキ時代デヤナイ、外交上ニ於テ支障ヲ來ス問題ハ自ラ進ンデヤメルダケノ雅量ガナケレバナラス、私ハ眞ニ國家ノ爲ニサウ思フ、ドウゾ今日歸ラレタナラ私ノ意ノ在ル所ヲ拓務大臣、總理大臣及ビ外務大臣ニ御傳ヘノ上、十分御相談ヲ願ヒタイ、キツト來年ノ議會ニハ、ドウダ我等ガ心配シタコトガ現實トナッタデヤナイカト云フコトヲ大聲叱呼シテ、總理大臣、拓務大臣、外務大臣ヲ責メナケレバナラスデアラウコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアル、斯ウ云フコトヲ無理押サレルコトハ實ニ慎シムベキコトデアルト思ヒマスカラ最善ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ希望致シマス

○野村委員長 牧山君ノ質問ハ大體ソレデ済ミマシタナ

○牧山委員 此委員會デハマタ出資七百五十萬圓ガ如何ナルモノデアルカト云フコトニ付テハチットモ觸レテ居ナイノデス、委員

長トシテ七百五十萬圓ハドウ云フ性質ノモノデアルト云フコトヲ聞カレテモ、御答ニ困ルデアラウト思フ、ダカラ其點モハッキリ分ルヤウニシテ置カナケレバナラスト思ヒマス

○野村委員長 七百二十五萬圓ノ問題ニ付テハ先程君ノ御留守ノ時ニ川崎君カラ相當ニ質疑ガアリ應答ガ行ハレマシタ、サウシマスレバ今日ハ此程度ニシテ置キマシテ、明日ノ午後一時カラ更ニ聞クコトニ致シタイト思ヒマスガ、ソレデ宜イデセウ

○牧山委員 私ノ今申上ゲタコトハ眞ニ國家ヲ思ウテノ言葉デアリマスカラ、ソレニ對シテ入江次官ガ責任ヲ以テソレハ杞憂デアル、又總理大臣拓務大臣、外務大臣ト相談シテ責任ヲ以テ、外交上支障ナシ、百萬町歩ノ「コンセッション」ノ問題ノ解決ノ上ニ支障ナシト云フ言明ヲ得ラレルナラバ、私モ亦考ヘテ見マセウ

○入江政府委員 大體此問題ニ付テハ拓務省トシマシテハ大分永イ間研究ヲシマシタ、外務省ノ意見モ十分確メタ譯ナノデゴザイマス、サウシテ先ヅ此程度ノモノヲヤルト云フコトハ差支ナイト、斯ウ云フコトデアッタモノデスカラ私共ヤウナ譯デアリマス、又今日ノ日本ノ事情カラ見マシ

テ、移民政策ト云フコトハ議會デモ議論ガアリマスヤウニ非常ニ重大ナル問題デアリマスルカラ、私共モ出來ルダケ是ハ其解決ノ爲ニハ十分、有ユル困難ナ點ガアレバ其困難ヲ除去シテ進ムベキモノデアラウト斯ウ考ヘテ居リマス、ガ併シ今御話ノヤウナ次第ハ國家トシテ十分研究シ、且ツ十分警戒シテ進ムベキモノデアリマスルカラ、其點ニ付キマシテハ私共モ十分研究シ、且ツ自分ガ局ニ居ル間ハ其責任ヲ以テ仕事ヲシテ居ルト云フコトハ是ハ當然ナ話デアリマスガ、將來ニ於キマシテモ此仕事ガ十分目的ヲ達スルヤウニ努力スル積リデアリマスルカラ、ドウカ一ツ國家ノ爲ニ、此問題ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス

○野村委員長 是デ今日ハ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマス、午後四時二十二分散會

昭和十二年三月二十四日印刷

昭和十二年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社